

# 国立国会図書館サーチの連携拡張に関する調査報告

平成 27 年

国立国会図書館

## 目次

はじめに .....	4
本調査報告の構成 .....	7
1. NDL サーチとは .....	8
1.1. NDL サーチの機能 .....	8
1.2. NDL サーチの利用状況 .....	9
2. NDL サーチの連携方針 .....	11
2.1. NDL サーチの連携対象 .....	11
2.2. NDL サーチが重視する連携先 .....	11
2.3. API による連携モデル .....	12
2.4. 領域ごと中間集約モデル（アグリゲータ・モデル） .....	13
2.5. メタデータハーベストと動的検索による連携のハイブリッド・モデル .....	15
2.6. その他 .....	16
3. NDL サーチの連携モデル成立及び連携拡張促進のための環境整備 .....	17
3.1. デジタルアーカイブの構築 .....	17
3.2. API の実装による標準化の推進 .....	18
3.3. 領域ごとのアグリゲータの設定 .....	19
4. NDL サーチの連携の現状（総論） .....	20
4.1. NDL サーチの連携の現状（総論） .....	20
4.2. 連携済みシステムとのコミュニティ形成 .....	21
5. NDL サーチの領域ごとの連携の現状と今後想定される実施事項 .....	22
5.1. NDL 内のシステム .....	22
5.2. 公共図書館 .....	23
5.2.1. 総合目録 .....	23
5.2.2. デジタルアーカイブ .....	24
5.3. 学術研究機関 .....	26
5.3.1. 大学図書館 .....	26
5.3.1.1 デジタルアーカイブ .....	26
5.3.1.2 機関リポジトリ .....	27
5.3.1.3 総合目録 .....	28
5.3.2. 学協会 .....	29
5.3.3. その他 .....	31
5.4. 公文書館 .....	32
5.5. 博物館・美術館 .....	33
5.6. 海外のシステム .....	34
5.7. その他 .....	35

5.7.1.	官庁資料.....	35
5.7.2.	専門図書館.....	36
5.7.3.	企業アーカイブ.....	36
5.7.4.	文学館.....	37
5.7.5.	マンガ・アニメ・ゲーム等.....	37
5.7.6.	映像.....	38
5.7.7.	出版社（近刊情報等）.....	38
5.7.8.	辞書サイト.....	39
6.	NDLサーチの中期的連携拡張ロードマップ.....	40
	終わりに.....	42
	（資料編）.....	43

## はじめに

国立国会図書館サーチ<sup>1</sup>（以下「NDLサーチ」という。）は、国立国会図書館（以下「当館」という。）が平成24年1月に本格サービスとして公開を開始した<sup>2</sup>統合検索サービスである。デジタルアーカイブを始めとする多数のシステムとの連携により、当館や他の機関が保有する冊子体・デジタル化された画像・音声等のさまざまな形態の情報を検索することを可能としており、メタデータの提供は、画面上のみでなく、外部提供インタフェース（API<sup>3</sup>）でも行っている。

NDLサーチは、平成10年度に策定した「電子図書館構想」<sup>4</sup>以降当館が継続的に拡充してきた電子図書館サービスの一つとして構築された。「国立国会図書館電子図書館中期計画2004」<sup>5</sup>中の「デジタル・アーカイブのポータル機能：（中略）利用者の必要とする情報をワンストップで入手できる窓口を構築する。これは、当館のデジタル・アーカイブにとどまらず、国等の公的機関を中心とした電子的情報資源や情報提供サービスに利用者を適切に案内するものである」を具現化したものである。

NDLサーチは公開以来、画面での利用、APIの利用のいずれにおいても、利用数（アクセス数）を順調に伸ばしてきたが、連携先（NDLサーチでメタデータを提供する他システム）の拡張や達成目標等の具体的な計画は策定されていなかった。これは、サービスの始動・定着期としてある程度やむを得ないことではあったが、本格サービスとしての公開から3年以上という時間が経過し、我が国におけるメタデータ提供のプラットフォームとしての認知度が高まりつつあるこの時点で、NDLサーチにおける連携の現状整理と、それに基づいた今後の目標と計画を示す必要がある。この計画は、「第三期科学技術情報整備基本計画」<sup>6</sup>に記載された、国内外の他機関との連携、国立国会図書館が保有する電子情報資源の活用、印刷物と電子情報資源の一体的提供を実現するためにも必要だと考えられる。

NDLサーチとの連携は、連携対象機関・システムにとって、提供経路の追加・拡大を意味する。NDLサーチが、今後連携先を計画的に拡張し、メタデータ提供のプラットフォームとしての価値が向上することは、各機関・システムにとって、アクセスされ利用される可能性がさらに高まることを意味するが、それは国全体のIT・情報関連施策の文脈でも求められている。

---

<sup>1</sup> <http://iss.ndl.go.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>2</sup> 「開発版」としての公開は、平成22年8月。

<sup>3</sup> アプリケーション・プログラミング・インタフェース。外部の他システムから呼び出して利用するための公開された手順やデータ形式を定めた規約及びその規約に基づくインターフェース。

<sup>4</sup> [http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_1000791\\_po\\_ndlelc-jpn.pdf?contentNo=1](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_1000791_po_ndlelc-jpn.pdf?contentNo=1) [accessed 2015-0226]

<sup>5</sup> <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/project/plan2004.html> [accessed 2015-0226]

<sup>6</sup> [http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_8262067\\_po\\_basic\\_plan03.pdf?contentNo=1](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8262067_po_basic_plan03.pdf?contentNo=1) [accessed 2015-0226]

例えば総務省は、平成 23 年 2 月から「知のデジタルアーカイブに関する研究会」を開催し、デジタルアーカイブの推進に向けた取組の方向性について検討し、その成果として平成 24 年 3 月に、「デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドライン」<sup>7</sup>を公開した。同ガイドラインでは、デジタルアーカイブは単に構築するだけでなく、「利用者の目から見ていくつものデジタルアーカイブがひとつのサービスとして統合されているように見える」ために連携することが重要であるとしている。またその中では、「国による知的資産の共有基盤」の一つとして、NDL サーチが挙げられてもいる<sup>8</sup>。

同様の検討は知的財産戦略本部でもなされている。同本部の検証・評価・企画委員会の下に設置された「アーカイブに関するタスクフォース」が平成 26 年 4 月にまとめた報告書<sup>9</sup>においては、アーカイブの利活用促進という文脈で、「ワンストップサービスである分野横断的検索システム」の必要性が述べられており、その代表例として NDL サーチが紹介されている。この報告書に示された検討結果は、「知的財産推進計画 2014」<sup>10</sup>中の「2. アーカイブの利活用促進に向けた整備の加速化」<sup>11</sup>にも反映されている。

また、今後我が国においては、文化情報保存・活用のための基盤整備が目指される場所である。現在は出版関連、文化財関連、大規模災害関連と、領域ごと個別に情報基盤が構築・維持運用されているが、さらに国全体として領域横断的・汎用的な基盤が求められている。その方向性は、平成 26 年度に成立した「著作権法の一部を改正する法律」に対する、参議院文教科学委員会による附帯決議「著作権法の一部を改正する法律案に対する附帯決議」<sup>12</sup>において「ナショナルアーカイブが、図書を始めとする我が国の貴重な文化関係資料を次世代に継承し、その活用を図る上で重要な役割を果たすものであることに鑑み、その構築に向けて、国立国会図書館を始めとする関係機関と連携・協力しつつ、……（後略）」と言及されているほか、デジタル文化資産推進議員連盟等の動向にも見られる。NDL サーチの連携拡張・機能拡張を進める上では、我が国のメタデータの恒久的な保存基盤及び汎用的な検索・ナビゲーション機能といった役割を、いずれ NDL サーチが担うという可能性も見据える必要がある。

さらに、NDL サーチで提供されるメタデータの分野・種類が拡張されることは、政府が推進する「公共データの民間開放（オープンデータ）」の文脈でも求められているところで

---

<sup>7</sup> [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000153595.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000153595.pdf) [accessed 2015-0226]

<sup>8</sup> 10～12 ページの記述による。

<sup>9</sup> アーカイブに関するタスクフォース「アーカイブに関するタスクフォース報告書」平成 26 年 4 月 11 日 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kensho\\_hyoka\\_kikaku/dai7/siryou2-2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kensho_hyoka_kikaku/dai7/siryou2-2.pdf) [accessed 2015-0226]

<sup>10</sup> <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/chizaikeikaku20140704.pdf> [accessed 2015-0226]

<sup>11</sup> 43～46 ページに掲載。

<sup>12</sup> 参議院文教科学委員会「著作権法の一部を改正する法律案に対する附帯決議」平成 26 年 4 月 24 日 [http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/186/f068\\_042401.pdf](http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/186/f068_042401.pdf) [accessed 2015-0226]

ある。「電子行政オープンデータ戦略」<sup>13</sup>、「世界最先端 IT 国家創造宣言」<sup>14</sup>にあるように、現在、公共データの民間開放等により、新ビジネスや官民協働の新サービスが創出され、企業活動、消費者行動や社会生活にもイノベーションが創出される社会を実現することが目指されているが、図書館等の情報機関が保持するメタデータの集約及び API を通じた一般への提供は、この政策の一翼を担うものである。

本調査報告は、NDL サーチの連携先拡張について、今後の目標と計画の策定に資するため、平成 26 年度時点での領域ごとの連携の現状を調査・整理し、今後想定される実施事項について検討した結果をまとめたものである。なお、今後想定される実施事項については、NDL サーチの運営に従来並みの資源が配分されることを想定して検討を行った。

---

<sup>13</sup> [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/pdf/120704\\_siryou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/pdf/120704_siryou2.pdf) [accessed 2015-0226] IT 総合戦略本部（高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部）が平成 24 年 7 月に策定。

<sup>14</sup> <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20140624/siryou1.pdf> [accessed 2015-0226] IT 総合戦略本部（高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部）が平成 25 年 6 月に策定し、平成 26 年 6 月に改定。

## 本調査報告の構成

本調査報告の構成は、以下のとおりである。

「1. NDL サーチとは」では、NDL サーチの機能、利用状況について現状を確認するとともに、検索対象について、その構築の目的、経緯等に基づき考察する。

「2. NDL サーチの連携方針」では、個々のデジタルアーカイブ等と直接連携することを志向するのではなく、領域ごとのメタデータ集約を担う機関・システムと連携するという領域ごとの中間集約モデル（アグリゲータ・モデル）、メタデータを事前に集約する方式と検索の都度、動的検索を実行する方式のハイブリッド・モデルといった、NDL サーチが現に採用している連携モデルについて、Europeana 等の海外事例も参照しつつ検討した。

「3. NDL サーチの連携モデル成立及び連携拡張促進のための環境整備」では、NDL サーチが連携拡張を進めるにあたって前提となる環境整備について、当館としての取組を中心に検討を行った。

「4. NDL サーチの連携の現状（総論）」では、NDL サーチの連携の現状を、ハーベストしたメタデータの状況を中心に各種観点での分析を踏まえ、総論としてまとめている。また、連携済みシステム（機関）のコミュニティ形成についての今後の方向性についても検討を行った。

「5. NDL サーチの領域ごとの連携の現状と今後の連携拡張方針」では、公共図書館、大学図書館、博物館・美術館、公文書館といった領域ごとに、連携の現状・到達点について、今回実施した調査の結果を提示している。またあわせて、今後 5 年間を目途として想定される実施事項について方向性についても検討を行った。本調査報告の核を成すパートである。

「6. NDL サーチの連携拡張の全体像」では、前項で領域ごとに検討した方向性を横断的にまとめた。また連携拡張の想定ロードマップを示す。

## 1. NDL サーチとは

### 1.1. NDL サーチの機能

NDL サーチが備える主な機能は次のとおりである。なお、利用者向け機能の詳細については、「国立国会図書館サーチについて > 機能概要」<sup>15</sup>を参照されたい。

分類	説明
(1) 収集・組織化機能／データ管理機能	➤ 書誌データの管理機能：収集・組織化したデータの追加・更新等を行い、最新の状態で管理する機能
(2) 検索・ナビゲーション機能	➤ 検索機能：資料カテゴリ、キーワード及び検索条件を指定し、利用者が望む情報を抽出し提示する機能 ➤ ナビゲーション機能：利用者を、資料・情報の適切な入手手段に案内する機能
(3) ユーザ情報及びアクセス制御管理機能	➤ 利用者の識別に関する機能：利用者を識別し、利用者特性に応じた情報を提供するための機能
(4) 付加価値サービス機能	➤ 外部連携関連機能：外部の Web サービスが、当館の情報資源を用いて様々な情報サービスを提供できるように、機械的な連携を可能とする機能。また、情報探索サービスが、外部の Web サービスを組合わせて付加価値の高い検索サービスを実現できるようにするための連携機能
(5) 総合目録機能	➤ 当館及び国内の公共図書館等が所蔵する情報資源の書誌・所在情報の統合検索、相互貸借の支援等を実現する機能
(6) 個別利用者対応	➤ 携帯端末向け機能 ➤ 国会議員及び国会関係者向け機能 ➤ 児童向け機能 ➤ 障害者向け機能

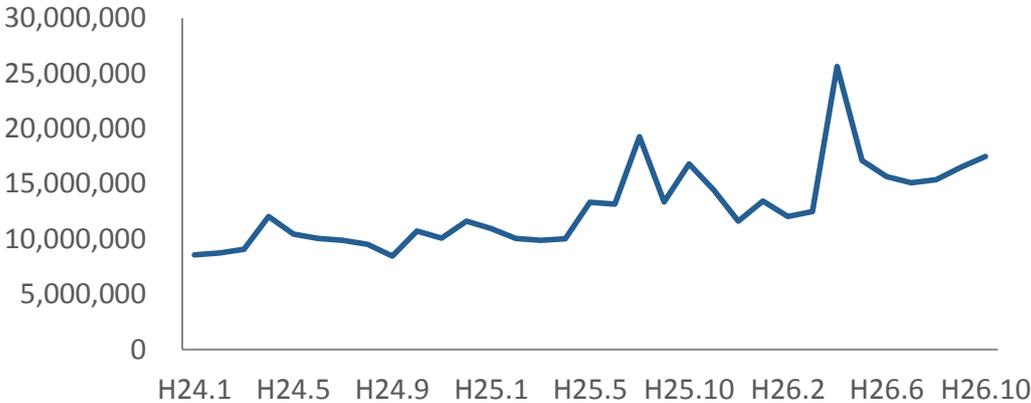
<sup>15</sup> <http://iss.ndl.go.jp/information/function/> [accessed 2015-0226]

	➤ 来館利用者向け機能
--	-------------

## 1.2. NDL サーチの利用状況

NDL サーチの利用は、平成 24 年 1 月の正式公開後、月によって多少の変動が見られるものの、おおむね増加傾向にある（図 1-1）。平成 26 年 11 月期の統計値によると、月間総計 1,500 万ページビュー（日平均では 50 万ページビュー）を示す。

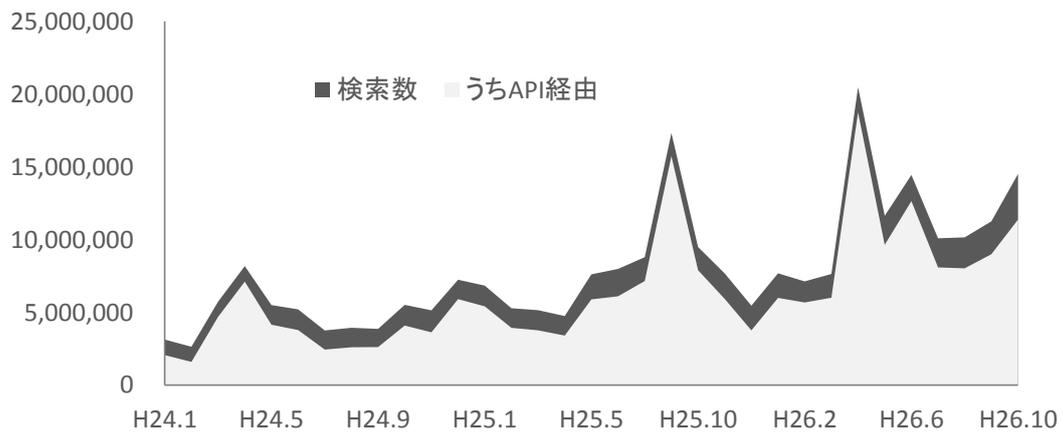
図 1-1. NDL サーチのページビュー数の推移  
（機械的な大量アクセスがあった特異期間は除外）



また、検索数について、アクセスタイプ別の内訳で見ると、API による利用が大半を占め、おおむね 8 割前後となる。この割合は、検索数と同様に、微増傾向を見せている（図 1-2）<sup>16</sup>。

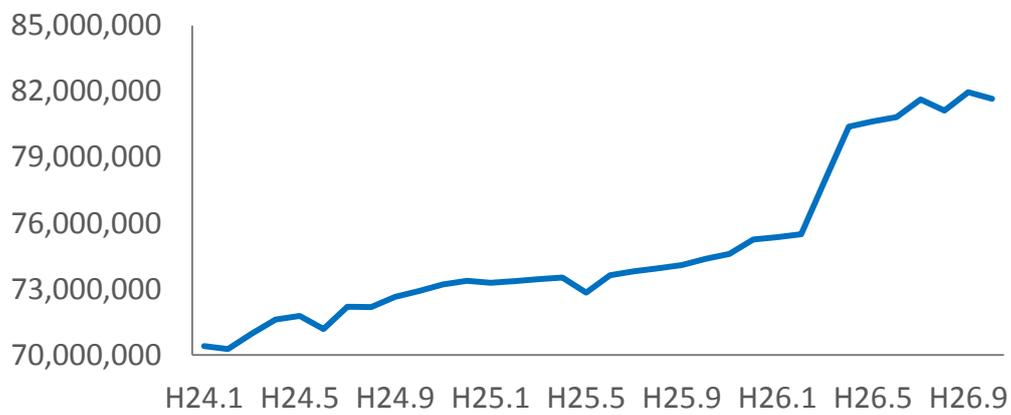
<sup>16</sup> NDL サーチでは、API を営利目的で利用する場合には申請を必須としている。平成 26 年 12 月時点で、計 50 件程度の申請が、図書館システムベンダー、ディスカバリーサービス提供事業者、その他企業等によりなされている。また、申請が必須でないことから、事前に問合せを受けたもの以外について、非営利利用の実態は把握できていないが、各種図書館の検索サービスにおける当館書誌データの利用、当館書誌データを取得・検索するためのツール類の開発が主な用途と思われる。「国立国会図書館サーチリンク集」<http://iss.ndl.go.jp/information/link/> [accessed 2015-0226] では、それらについて、代表的な事例を整理・紹介している。なお、本計画の対象とはしないが、NDL サーチが収集したデータの効果的・効率的な利活用を実現するためにも、今後は API 利用者のコミュニティを形成していく取組が必要であろう。

図 1-2. NDL サーチのアクセスタイプ別検索数の推移  
 (機械的な大量アクセスがあった特異期間は除外)



他方、収録データ件数も順調に増加してきている (図 1-3)。

図 1-3. NDL サーチの収録メタデータ件数の推移



## 2. NDL サーチの連携方針

### 2.1. NDL サーチの連携対象

「国立国会図書館電子図書館中期計画 2004」<sup>17</sup>における「当館のデジタル・アーカイブにとどまらず、国等の公的機関を中心とした電子的情報資源や情報提供サービスに利用者を適切に案内するもの」という規定を考慮すると、NDL サーチの連携対象については、次のように想定することができる。

まず、当館の国立図書館としての役割を考慮すると、次のことを目標とすべきであろう。

日本の刊行物及び刊行物と同等の内容を有するコンテンツをメディアの形態にかかわらず網羅した統合検索・ナビゲーションを実現する。

このためには、日本の刊行物及び刊行物と同等の内容を有するコンテンツ（一次情報）及びそれに関連する二次情報、参考情報の網羅を志向する必要がある。また、国内のシステムを重視するのは当然であるが、海外における日本の刊行物及び同等の内容を有するコンテンツを扱うシステムについても、視野に入れる必要があるだろう。

さらに、近年の国全体における文化情報保存・活用のための基盤整備に関する議論を考慮すると、学術研究機関・団体、図書館・文書館・博物館・美術館等の文化機関団体についても、連携対象と明確に位置づける必要があると考えられる。

なお、このような考え方は、構築当初より、明文化はされないものの当館内においては共有されてきたものであり、NDL サーチはそれに従って連携拡張を進めてきた。今後はさらに、民間機関・団体等における関連するシステムとの連携について、一定の考慮をすべきだと考えられる。

現在 NDL サーチが連携できているシステムの数やデータの件数については、「4. NDL サーチの連携の現状（総論）」を参照。

### 2.2. NDL サーチが重視する連携先

当館が国民全体をサービス対象としていることから、NDL サーチは、特定の利用者層ではなく、一般の、あるいは多様な利用者層にとって有用なシステムであるべきであろう。これを考慮すると、一般的に、連携対象の選択に当たっては、①文化的・学術的価値が高い、②主題分野を代表しているといった点を重視すべきだと考えられる。

また、利用者のコンテンツへのアクセスしやすさを考慮すると、紙媒体の資料の目録（い

---

<sup>17</sup> 平成 16 年国図企協第 27 号（平成 16 年 2 月 17 日）策定 <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/project/plan2004.html> [accessed 2015-0226]

いわゆる OPAC) よりも各種デバイス上での閲覧が可能なデジタル資料を重視し、デジタル資料の中では、会員でなければ、あるいは料金を支払わなければ一次情報を閲覧できないものよりも、誰でも閲覧できるもの、いわゆるオープンアクセス<sup>18</sup>であるものを重視することが考えられる。ただし、コンテンツ自体が代替不可能であり、有用性も高い場合には、優先して連携を目指すべきであろう。

なお、「5.2. 公共図書館」でも述べるように、公共図書館の総合目録については、従来から当館の図書館協力業務の中核を占めており、連携を継続する必要がある。

### 2.3. API<sup>19</sup>による連携モデル

NDL サーチ側、連携システム側双方の運用コストを低減するためには、API による連携を優先することが有効である。また次項で述べる‘領域ごと中間集約モデル(アグリゲータ・モデル)’は、多段的なデータのやり取りを日々行うことを想定したモデルであるため、API という技術的基盤無しでは成立し得ないものである。NDL サーチは、API を用いて他システムとの連携を実現していくことが有効であり、API に基づく連携機能を装備している機関から順次対象を拡大することが妥当であろう。また、API を実装していない機関に対して、その実装の普及に努めることも有効と考えられる。

連携のために用いる API としては、ハーベスト用として OAI-PMH、検索用として SRU/SRW、OpenSearch 等が想定される。OAI-PMH での連携は、同じくメタデータをハーベストする FTP 等のファイル転送による連携よりも運用コストが軽く、高い頻度での更新が可能となる。

また、NDL サーチは、メタデータ形式としてダブリンコアを拡張した DC-NDL(RDF)<sup>20</sup>を採用している。同形式でのメタデータ授受は、変換処理を不要とするため、連携開始時のコストの総和を低減させる効果を持つ<sup>21</sup>。加えて、同形式が普及し標準となることで、国内のメタデータ交換基盤が形成されることも、中長期的には期待できる。国際標準であるダブリンコアで記述されたメタデータの普及は、国際連携の促進にも繋がるだろう。このため、

---

<sup>18</sup> 論文等のコンテンツを、インターネットを通じて誰もが無料で閲覧可能な状態に置くことを指す。学術情報の提供の文脈で用いられることが多いが、ここではデジタルコンテンツ全般を対象として記述している。また、グリーン OA (セルフアーカイビング) とゴールド OA (オープンアクセス誌)、無料 OA と自由 OA といった区分をせず、全体を指している。

<sup>19</sup> あるコンピュータプログラム(ソフトウェア)の機能や管理するデータ等を、外部の他のプログラムから呼び出して利用するための手順やデータ形式等を定めた規約及びその規約に基づくインターフェースのこと。Application Programming Interface の略。

<sup>20</sup> DC-NDL(RDF)については、「国立国会図書館サーチについて > メタデータ」

<http://iiss.ndl.go.jp/information/metadata/> [accessed 2015-0226] を参照。

<sup>21</sup> DC-NDL(RDF)で提供された場合、変換処理を経ずに NDL サーチのデータベースに格納される。それに対し、異なる形式で提供された場合は、DC-NDL(RDF)への変換処理が必要である。

DC-NDL(RDF)を標準的なメタデータ形式として推進することが望ましい。なお当面は、他のメタデータ形式を採用した連携先への対応も適宜行う必要があるだろう。

## 2.4. 領域ごと中間集約モデル（アグリゲータ・モデル）

図書館については、国の中央図書館である当館が自ら網羅的に連携すべきことは、当館の国立図書館としての役割を考慮すると、論をまたないだろう。とりわけ公共図書館のシステムとの連携は最優先だと考えられる。公共図書館、大学図書館が運営するデジタルアーカイブについては、全体を網羅することが求められよう。

しかし、図書館以外の領域については、より効率的に連携を進めることを検討すべきである。具体的には、個別のコンテンツとの連携よりも、それらを集約した各種の統合検索サービスとの連携を優先すべきである。大量かつ、図書館以外の多様なデータの収集を効率的に行うためには、単に連携するシステムに優先順位を付けるのみではなく、連携自体を効率的に行わなければならない。また、当然ながら、統合検索サービスとの連携には、個別のシステムとのそれに比して、同じ範囲を網羅するために必要とされるシステム的な連携の本数が少なく済むという利点がある。加えて、メタデータ標準は領域ごとに定まっている場合も多く、最初の段階のメタデータ交換を統合検索サービスと行うことが、そもそも効率的であるという事情もある。

また、そのような効率の面だけでなく、各領域内で密接な連携が行われること自体の価値も無視し得ない要素である。統合的なポータル・プラットフォームの存在は、関係者にとっては領域内の一体性・連帯性の強化を、領域外の利用者等にとっては可視性の向上に繋がる。

なお、この連携モデルは NDL サーチに固有のものではなく、統合的な検索サービスにとって世界的な標準とも言える。代表的な例として、欧州の Europeana<sup>22</sup>、アメリカの DPLA<sup>23</sup>、オーストラリアの Trove<sup>24</sup>は、この連携モデルを掲げており、それに基づき連携を拡張してきた。Europeana ではこのモデルを「アグリゲータ・モデル」(aggregator model)あるいは「アグリゲーション・モデル」(aggregation model)、メタデータを集約の上で Europeana に提供する機関・システムのことを「アグリゲータ」(aggregator)、メタデータをアグリゲータに提供する機関・システムのことを「データプロバイダ」(data provider)と呼んでいる。

‘How to contribute data’<sup>25</sup>によると、Europeana には、領域ごとあるいは国・地域ごとにアグリゲータが存在しており、それらがメタデータを集約の上で提供している。

---

<sup>22</sup> <http://www.europeana.eu/> [accessed 2015-0226]

<sup>23</sup> <http://dp.la/> [accessed 2015-0226]

<sup>24</sup> <http://trove.nla.gov.au/> [accessed 2015-0226]

<sup>25</sup> <http://pro.europeana.eu/share-your-data/how-to-contribute-data> [accessed 2015-0226] に掲載。

‘Europeana's data providers’<sup>26</sup>によると、Europeana には 146 のアグリゲータが存在しているが、その下には約 2,700 のデータプロバイダが紐付いている（平成 26 年 7 月時点）。実際には偏りはあるが、単純計算で 1 アグリゲータ当たり 18 ものデータプロバイダを束ねていることになる。

NDL サーチでも、領域ごとのアグリゲータからメタデータを収集する、という連携モデルは、既に、部分的に実現している。例えば、大学図書館が運営する機関リポジトリのメタデータはそれを集約する JAIRO<sup>27</sup>と連携することで収集し、学協会が発行する電子ジャーナルのメタデータは、電子ジャーナル刊行プラットフォームである J-STAGE<sup>28</sup>と連携することで収集することが、公開当初より実現している（詳細は「5.3. 学術研究機関」を参照）。ただしそのような連携モデルは、現時点では他の領域でも十全に確立されている訳ではない。

次ページに、NDL サーチがアグリゲータとともに成立させる、連携モデルの概念図を示す。連携モデルの現時点における達成状況等の詳細については、「5. NDL サーチの領域ごとの連携の現状と今後想定される実施事項」を参照されたい。

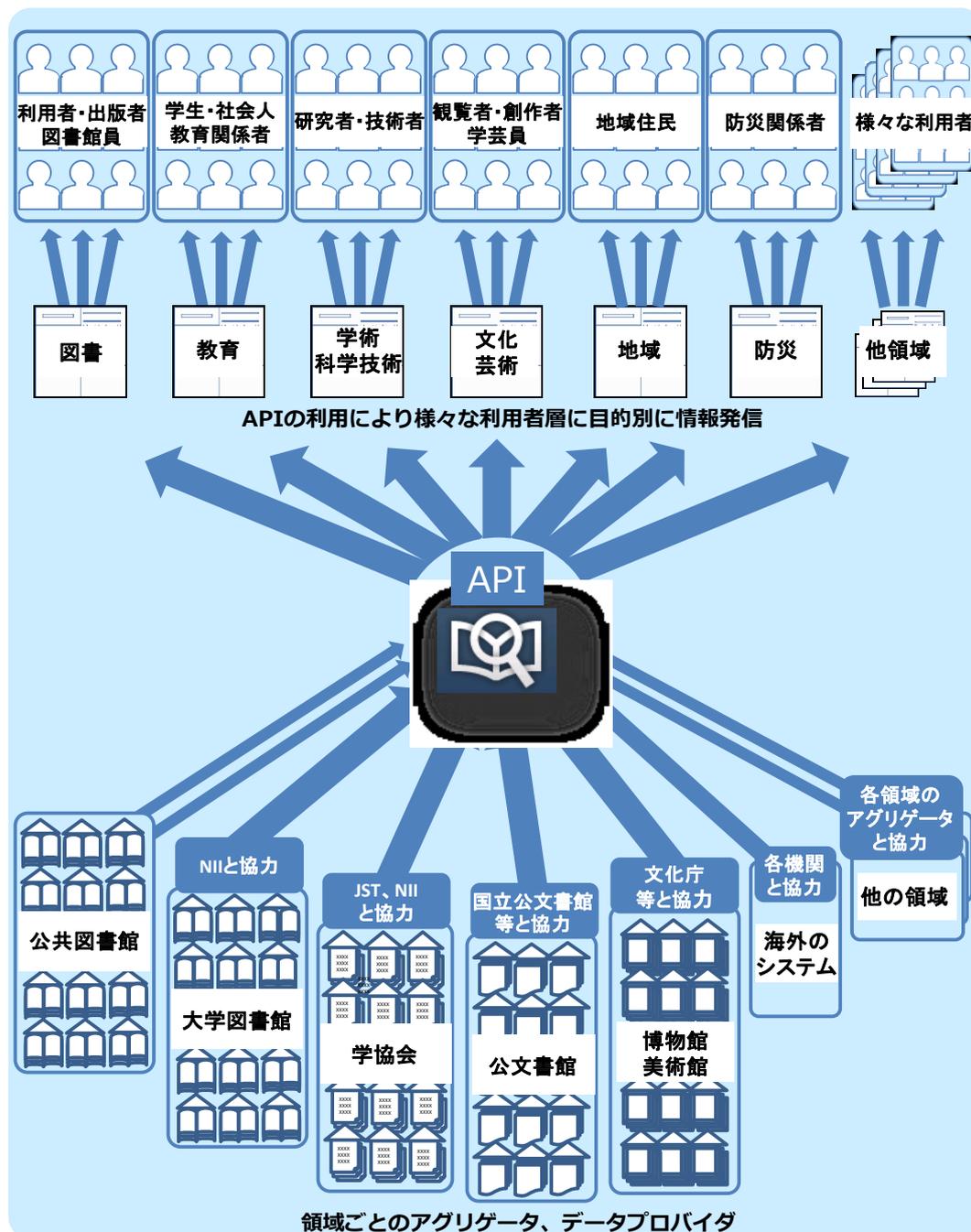
---

<sup>26</sup> <http://www.europeana.eu/portal/europeana-providers.html> [accessed 2015-0226]

<sup>27</sup> <http://ju.nii.ac.jp/> [accessed 2015-0226] 国立情報学研究所（NII）が運営する。

<sup>28</sup> <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/> [accessed 2015-0226] 科学技術振興機構（JST）が運営する。

図 2-1. NDL サーチの統合検索サービス提供における連携イメージ



## 2.5. メタデータハーベストと動的検索による連携のハイブリッド・モデル

NDL サーチの連携方法には、メタデータを事前に集約するハーベスト方式と検索の都度、動的検索を実行する横断検索方式がある。両者とも選択できる場合は、原則的にハーベスト方式を優先することが適当である。理由は、①API によるメタデータの提供が可能であるこ

と<sup>29</sup>、②横断検索先は書誌同定・著作同定やデフォルトの検索の対象外であることが挙げられる。特に①の API での提供は、NDL サーチが保持するメタデータの利活用を促進していく上で重要な機能である。しかしながら、ハーベスト方式は、深い連携である分、組織化処理の増大や不正データによる障害の原因ともなり得るため、実務上の理由から横断検索を選択する場合もあり得ると考えられる。

## 2.6. その他

他の観点では重要度が同等であるシステムの中では、規模が大きい(=データ件数が多い)ものを優先することが妥当であろう。

---

<sup>29</sup> データプロバイダ側が、メタデータの API での外部提供を許諾している場合。

### 3. NDL サーチの連携モデル成立及び連携拡張促進のための環境整備

「2. NDL サーチの連携方針」で検討したように、NDL サーチの連携モデルを成立させるためには、連携しようとするシステムが API を実装していることが求められる。それに加え、領域ごとにアグリゲータが存在し、データプロバイダとの協力関係を構築していることが望ましい。またさらにその前段では、当然ながら、そもそも連携対象となり得るシステム（主にデジタルアーカイブ）の構築が適切になされている必要がある。

以下では、主に「5. NDL サーチの領域ごとの連携の現状と今後想定される実施事項」「6. NDL サーチの中期的連携拡張ロードマップ」に記載する今後 5 年間の連携拡張方針の前提となる外部環境の整備について、当館としての取組を中心に検討する。

#### 3.1. デジタルアーカイブの構築

当館では、全国の公共図書館におけるデジタルアーカイブ事業を推進することを目的として、後述するデジタル情報資源ラウンドテーブルの下にワーキンググループ「公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議」<sup>30</sup>を設置し、平成 22 年から平成 24 年まで、計 3 回会議を開催し、ディスカッションを重ねてきた。

また、当館では、より実践的な取組として、平成 15 年度以降、資料電子化研修及び資料デジタル化研修<sup>31</sup>を開催してきた。これは、公共図書館等における資料のデジタル化事業の支援を目的としたもので、既に資料のデジタル化事業を行っている図書館、又はこれから資料のデジタル化事業を行う具体的な計画がある図書館の職員を主な対象に、国立国会図書館での実例を交えつつ<sup>32</sup>、資料のデジタル化事業の進め方及びデジタル化資料の利活用についての研修を行うものであり、平成 26 年度までに延べ 220 名が受講した。この研修は今後も継続される予定である。

また、「はじめに」でも述べたように、総務省は、デジタルアーカイブの推進に向けた取組の方向性について、「知のデジタルアーカイブに関する研究会」において検討し、その成果として「デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドライン」を公開している。これは、「図書・出版物、公文書、美術品・博物館、歴史資料等公共的な知的資産の総デジタル化を進め、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組みを構築し、知の地域づくりを推進するため、地域の知の記録組織で活用していただくことを目標」<sup>33</sup>に作成され

---

<sup>30</sup> [http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/cooperation/working\\_group.html](http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/cooperation/working_group.html) [accessed 2015-0226]

<sup>31</sup> 平成 15 年度～18 年度に「資料電子化研修」として、平成 23 年度以降に「資料デジタル化研修」として開催。平成 26 年度の開催案内は [http://www.ndl.go.jp/jp/library/training/guide/1206244\\_1485.html](http://www.ndl.go.jp/jp/library/training/guide/1206244_1485.html) [accessed 2015-0226] を参照。

<sup>32</sup> ガイドラインとして、「国立国会図書館資料デジタル化の手引」を作成・公開している。  
<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/digitization/guide.html> [accessed 2015-0226]

<sup>33</sup> 同ガイドライン 2 ページ目の記載から引用。

たものである。

今後も、上記の研修あるいはガイドラインによって<sup>34</sup>、各地域あるいは領域において、デジタルアーカイブの構築が推進されることが望まれる。

### 3.2. APIの実装による標準化の推進

当館では、平成24年度に「WebAPIによるシステム連携ガイドライン」<sup>35</sup>を作成し、公表した。これは、国立国会図書館総合目録ネットワーク<sup>36</sup>の参加館におけるメタデータ提供方式につき、従来のFTP等からOAI-PMHへ切替えを促進することを当初の目的として作成したものであるが、システムにメタデータ提供用のAPIを実装する際に参照すべき汎用的なガイドラインとしての活用も可能なものである。代表的なハーベスト用APIであるOAI-PMHの他、SRU、SRW、OpenSearchといった検索用APIについても標準的な実装方法について説明し、またNDLサーチにデータ提供する際に推奨されるメタデータ形式であるDC-NDL(RDF)等について、記述上の留意点等をまとめている。

以下は、同ガイドラインに掲載した表「連携方式ごとの返戻メタデータ形式」の転載である。

連携方式	通信プロトコル	返戻メタデータ形式
メタデータ収集 (ハーベスト)	OAI-PMH	<ul style="list-style-type: none"><li>DC-NDL(RDF)</li><li>DC-NDL(Simple)</li><li>SimpleDC(OAI-DC)</li></ul>
	RSS	<ul style="list-style-type: none"><li>RSS1.0のデータ形式又はその派生形式</li><li>RSS2.0のデータ形式又はその派生形式</li></ul>
横断検索	SRU/SRW	<ul style="list-style-type: none"><li>DC-NDL(RDF)</li><li>DC-NDL(Simple)</li><li>SimpleDC(OAI-DC)</li></ul>
	OpenSearch	<ul style="list-style-type: none"><li>RSS1.0のデータ形式又はその派生形式</li><li>RSS2.0のデータ形式又はその派生形式</li><li>(OpenSearch形式を含む)</li></ul>
リンク先への遷移	OpenURL	—

表 3-1. 連携方式ごとの返戻メタデータ形式

<sup>34</sup> その他の代表的なガイドラインとしては次が挙げられる。「文化資源のデジタル化に関するハンドブック（東京大学大学院情報学環・凸版印刷共同研究プロジェクト）」 <http://www.cen-ter.iii.u-tokyo.ac.jp/handbook> [accessed 2015-0226]

<sup>35</sup> [http://iss.ndl.go.jp/somoku/wp-content/uploads/2011/11/h24kensyu\\_sanko01ver1\\_01.pdf](http://iss.ndl.go.jp/somoku/wp-content/uploads/2011/11/h24kensyu_sanko01ver1_01.pdf) [accessed 2015-0226] 公開後、2回改訂し、現在は「ver.1.2 (2014.05.26)」。

<sup>36</sup> <http://iss.ndl.go.jp/somoku/> [accessed 2015-0226]

平成 24 年度以降の総合目録ネットワーク研修会において、図書館パッケージを提供するシステムベンダーにも参加していただき、上記ガイドラインの解説を行いつつ、API、とりわけ OAI-PMH の実装を呼びかけてきた<sup>37</sup>。

また、既述の資料デジタル化研修においては、今後、提供システムの検討ポイントとして、API を用いたメタデータ連携についても触れる予定である。

### 3.3. 領域ごとのアグリゲータの設定

「2.4. 領域ごと中間集約モデル（アグリゲータ・モデル）」で説明したモデルは、領域ごとにアグリゲータの役割を果たす機関・システムが存在し、同機関・システムが、個々のデータプロバイダとの間で協力関係を築いていることを前提として成立する<sup>38</sup>。後述するように、領域によってはこの構造は既に確立されており、その場合、NDL サーチではその構造を活用すればよい。一方で、アグリゲータたり得る機関・システムはあるが、上記関係が確立されているとまでは言えない状況の領域があり、またそのような萌芽も見出しがたい領域もある。

当館としては、各領域でアグリゲータによるメタデータの集約が成立することを目指し、今後も代表的な機関への働きかけを行っていくべきである。例えば、国立情報学研究所（以下、「NII<sup>39</sup>」という）、科学技術振興機構（以下、「JST<sup>40</sup>」という）との間での、個々の、あるいは三機関での調整を継続すること、又は OpenGLAM Japan<sup>41</sup>等との連携は視野に入るだろう。具体的な取組として、イベント・会議等を開催し、意見交換等を重ねることが有効だと思われる。

ただし、当然ながら、アグリゲータ・モデルは、当館が独力で成立させられるものではない。当館としては、今後、各領域・各機関で加速していこう協力体制を注視するとともに、各領域・各機関との協力体制を構築していくことで、All Japan でのアグリゲータ・モデルの確立・深化に寄与していくことが望まれる。

---

<sup>37</sup> この点については、「5.2.1 総合目録」も参照。

<sup>38</sup> なお、Europeana では、「領域ごと×国ごと」でアグリゲータが設定されているケースもあるが、日本国内でメタデータを集約することを目的とする場合、領域ごとの一軸での設定が適切であると考えている。

<sup>39</sup> National Institute of Informatics の略。

<sup>40</sup> Japan Science and Technology Agency の略。

<sup>41</sup> <https://ja-jp.facebook.com/OpenGLAMjp> [accessed 2015-0226]

## 4. NDL サーチの連携の現状（総論）

### 4.1. NDL サーチの連携の現状（総論）

調査の一環として、NDL サーチが現時点で連携済みのシステムについて、ハーベストしたメタデータの状況を中心に各種観点での分析を実施した。この調査結果については、論稿「国立国会図書館サーチのメタデータ収録状況 Europeana との比較調査」にまとめ、公表した<sup>42</sup>。本章の記載は、同論稿の内容をサマライズしたものである。なお、上記論稿には含まれる分野の観点及び地域の観点での分析については、ここには記載していないが、次章にて適宜参照している。

以下、連携の現状を観点ごとに箇条書きの形式で記述する。NDL サーチには、Europeana と比較した時に、長所・短所のいずれもあることが分かる。次章に記述する領域ごとの連携拡張方針を検討するに当たっては、ここに記載した現状把握をベースとした。

<連携システム数・データ件数の観点から>

- ▶ 連携システム数は約 100 である<sup>43</sup>。
- ▶ 現状で 1 億件を超え、ハーベスト分だけでも約 8,000 万件に達する。
- ▶ デジタル資料のみに限定すると、全体としては 2,400 万件、ハーベストのみに限っても 1,400 万件となる。（うち、NDL のものは約 270 万件 [11%]）

<コンテンツの種類観点から>

- ▶ 大半は画像形式であり、音声・動画のみを中心としたアーカイブとの連携は今のところない。
- ▶ デジタル資料に、記事論文やレファレンス情報等も含まれている点が特徴である。（Europeana との差異）
- ▶ 学術調査研究に役立つツールとしても利用可能で、単なるデジタルアーカイブポータルに留まっていない。

---

<sup>42</sup> 塩崎亮、菊地祐子、安藤大輝. 国立国会図書館サーチのメタデータ収録状況 Europeana との比較調査. 情報管理. 2014, vol.57, no.9, P.651-663, doi: <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.57.651> [accessed 2015-0226]

<sup>43</sup> 「国立国会図書館サーチについて > 検索対象データベース一覧」 <http://iss.ndl.go.jp/information/target/> [accessed 2015-0226] を参照。

<コンテンツの年代の観点から>

- ▶ 19-20 世紀のコンテンツが多い。
- ▶ 戦中（1940 年代）のコンテンツの数が少なく、ピーク値が 1960 年代と 90 年代にある。
- ▶ これは、「保存のためのデジタル化」の枠組みに基づいて、図書は 1968 年までを対象としていたこと、1990 年代の博士論文のデジタル化が行われたこと等に起因すると考えられる。

<連携プロトコルの観点から>

- ▶ ハーベストにおける OAI-PMH あるいは RSS での連携は、全体の約 27%（22 件）とまだ少数である。
- ▶ 一方、横断検索については、SRU、SRW、OpenSearch という推奨方式での連携が全体の約 92%（23 件）を占めている。

## 4.2. 連携済みシステムとのコミュニティ形成

Europeana では、共通課題を議論し、解決へ向けた情報交換を行うことを目的として、連携済みのアグリゲータによるコミュニティを形成し、維持している。それは物理的な手段及びインターネット上の手段の双方で行われており、前者は具体的には会議、ワークショップ、ラウンドテーブル等の開催であり、後者は Web 上でのフォーラムの設置及びその運用である<sup>44</sup>。

NDL サーチにおいては、従来、各連携システム（機関）との個別的なやり取りはあったが、連携システム間で情報交換等可能な枠組みは用意していなかった。今後は Europeana に倣い、連携システムのコミュニティを形成・維持していくことも検討すべきだろう。

---

<sup>44</sup> この段落の記述は主に、Europeana が 2014 年 3 月に発表した ‘Business Plan 2014’ [http://pro.europeana.eu/files/Europeana\\_Professional/Publications/Europeana%20Business%20Plan%202014.pdf](http://pro.europeana.eu/files/Europeana_Professional/Publications/Europeana%20Business%20Plan%202014.pdf) [accessed 2015-0226] に依拠している。

## 5. NDL サーチの領域ごとの連携の現状と今後想定される実施事項

NDL サーチが現時点で他システムとの連携をどの程度実現できているかについても調査した。具体的には、領域ごとのシステム（主にデジタルアーカイブ）の存在数を調査し、それに占める NDL サーチ連携済みシステムの率を算出し、併せて、未連携の各システムの概要についてアンケートにより調査を実施した。

本章での、領域ごとの連携の現状及び今後の実施事項に係る記述は、主に上記調査及び既出の論稿「国立国会図書館サーチのメタデータ収録状況 Europeana との比較調査」の結果に依拠している。

### 5.1. NDL 内のシステム

NDL サーチは、現在、次に挙げる国立国会図書館が運営するシステム及び事業と連携している。

- NDL-OPAC
- NDL 雑誌記事索引
- 国立国会図書館デジタルコレクション
- 国立国会図書館デジタルコレクション（電子書籍・電子雑誌）
- 国立国会図書館電子展示会
- リサーチ・ナビ（調べ方案内）
- レファレンス協同データベース
- カレントアウェアネス
- 国立国会図書館 DAISY 資料
- 総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）
- 新聞総合目録
- 児童書総合目録
- 点字図書・録音図書全国総合目録
- 電子展示会
- 国会会議録検索システム
- 帝国議会会議録検索システム
- 日本法令索引
- 日本法令索引〔明治前期編〕

基本的に、当館がインターネットで提供するシステム全てを検索対象としていると言える。そして、それぞれのシステムが、制度的な基盤により、アグリゲータとして機能している。例えば紙媒体の国内刊行物の領域では NDL-OPAC が、レファレンス事例の領域ではレファレンス協同データベースが、それぞれの領域でのアグリゲータである。今後も、当館がインターネットで提供するシステムは全て検索対象としていくべきだろう。

なお、当館がインターネットで提供する各システムの詳細については、「オンラインサー

ビズ一覧」<sup>45</sup>、「国立国会図書館 電子情報サービス」<sup>46</sup>も参照のこと。

## 5.2. 公共図書館

公共図書館は、従来から当館の図書館協力業務の中核を占め、また、所蔵情報等について、ほかに全国規模で網羅的な検索・データ提供を可能とするサービスがないため、NDLサーチとして最も重視する領域であり、今後の連携拡張においても優先度は最も高いと言えるだろう。

### 5.2.1. 総合目録

当館は、平成10年に、都道府県立図書館及び政令指定都市立の公共図書館の紙媒体蔵書の総合目録である総合目録ネットワークシステムを構築し、その後平成24年1月にはNDLサーチが、本格サービスとしての公開を機に同システムを吸収・統合した。公共図書館の蔵書目録にはアグリゲータと言える存在はないため<sup>47</sup>、NDLサーチが個々の蔵書目録と直接連携する必要があると考えられる。

連携の状況は次のとおりである。総合目録ネットワークという事業が母体となっていることもあり、網羅率は90%近くに達する。

区分	総数		
	*77館のうち	うちNDLサーチ連携済み	うちNDLサーチ未連携
公共図書館 OPAC	77	66 (うち OAI-PMH による連携は 12 システム)	11

表 5-1. 都道府県立及び政令指定都市立公共図書館における OPAC 構築状況(平成 27 年 1 月現在)

よって、この領域においては、網羅率の向上よりも、API 連携の推進を目標とすることが適当である。総合目録ネットワークにおいては、従来、FTP、HTTP-GET 等によるファイル転送でデータを受領してきたが、NDLサーチへのシステム統合以降は、OAI-PMH への切替えをデータ提供館に働きかけ、現状で、NDLを除いた全データ提供館 66 館のうち 12 館が、既に切替えを完了した<sup>48</sup>。今後もこの動きを推進する必要があるだろう。

上記より、この領域については、現時点の当館の人員と予算の制約で実現可能な実施事項

<sup>45</sup> [http://www.ndl.go.jp/jp/service/online\\_service.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/online_service.html) [accessed 2015-0226]

<sup>46</sup> [http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/project/pdf/dlservice\\_jp.pdf](http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/project/pdf/dlservice_jp.pdf) [accessed 2015-0226]

<sup>47</sup> ただし多くの都道府県には、域内の公共図書館を中心とした図書館の横断検索システムが存在する。

<sup>48</sup> これにより、書誌データの更新頻度の向上、NDLサーチから公共図書館の蔵書目録の書誌詳細画面へのアクセスの改善等が実現されている。

として以下が想定される<sup>49</sup>。ただし、最終的には全てのデータ提供館との間で、OAI-PMHでのメタデータ授受が実現することを目標とすべきである。

- 今後年間約 5 館程度ずつ OAI-PMH への切替えを実施する。
- 5 年後には、データ提供館 66 館のうち 6 割弱の 37 館程度について OAI-PMH でのメタデータ授受が実現する。

### 5.2.2. デジタルアーカイブ

公共図書館のデジタルアーカイブは、所蔵資料の総合目録事業の枠組みと同様に、NDLサーチが直接連携する必要があると考えられる。これにより、全国の公共図書館で構築されたデジタルアーカイブが持つメタデータを、一元的に取り扱うことが可能となる。

この度、日本図書館協会の『日本の図書館 統計と名簿 2013』に掲載された各図書館のWebサイトに悉皆的にアクセスすることで、以下の状況を確認することができた<sup>50</sup>。

区分	総数 *1,351 館のうち	うち NDL サーチ 連携済み	うち NDL サーチ未連携	
			検索画面有	検索画面無
公共図書館デジタルアーカイブ	78	32	22 (うち API 実装 済みは 1 システム)	24

表 5-2. 公共図書館におけるデジタルアーカイブ構築状況(平成 26 年 6 月現在)

今回の調査で確認できた範囲では、公共図書館のデジタルアーカイブは全部で 78 存在していた。他の領域に比して網羅できているのではないかという予想に反し、網羅率は 40% 程度 (32/78) であった<sup>51</sup>。また、未連携かつ検索画面を持っている (= 検索機能を持っている) システムは 22 存在するものの、「API を実装しているもの」は 1 システムのみであった。

<sup>49</sup> なお、市町村立図書館の蔵書目録については、現在カーリル <https://calil.jp/> [accessed 2015-0226]との連携で「よく利用する図書館」機能を提供しているが、引き続きシステム連携により統合検索を提供することが想定される。

<sup>50</sup> なお、電子出版政策・流通協議会の『電子図書館・電子書籍貸出サービス 調査報告 2014』によれば、公共図書館中央館 1,352 館を対象とした質問紙調査 (回収率 55%) を行った結果、「デジタルアーカイブ」提供中は 100 館、試験的に提供中は 25 館だったという。同書と本調査報告との間で、提供中のデジタルアーカイブ数に差異がある理由は不明であるが (実施時期は平成 26 年 2 月～4 月)、このような差異の発生自体、デジタルアーカイブというものが孕む多義性を示していると言えるだろう。

<sup>51</sup> 検索画面があるものに限定すると、網羅率は約 60% (32/54) 。

また、この領域については、地域別の総数及びNDLサーチでの網羅率という観点でも把握している。表5-3は、検索画面があるデジタルアーカイブの数を、(NDLサーチ)未連携／連携済みの別に算出したものである。

区分	総数	うちNDLサーチ未連携	うちNDLサーチ連携済み	網羅率
北海道	3	0	3	100%
東北	6	2	4	67%
関東	12	6	6	50%
中部	13	7	6	46%
近畿	7	2	5	71%
中国	7	3	4	57%
四国	1	0	1	100%
九州・沖縄	5	2	3	60%
計	54	22	32	-

表5-3. 地域別のデジタルアーカイブ数(平成26年6月現在)

今後の連携は、「2. NDLサーチの連携方針」に記載したとおり、「APIを実装しているもの」「データ件数が大きいもの」を優先して進めていくことが妥当と考えられるが、この領域ではそれと合わせ、地域ごとの偏りも考慮していくことが求められる。

上記より、この領域については、現時点の当館の人員と予算の制約で実現可能な実施事項として以下が想定される。前提としては、現時点でAPIを実装しているデジタルアーカイブとの連携を優先する。なお、API未実装のデジタルアーカイブについては、API実装を促進しつつ、網羅率が低い地域のうち、データ件数が大きいデジタルアーカイブとの連携を順次進めることが考えられる。なお、最終的には、全てのデジタルアーカイブと連携することを目標とするべきである。

- ▶ 現在32館と連携実施済みであるが、今後年間約3館と連携を行う。
- ▶ 5年後には、全体<sup>52</sup>(54館)のうち、約9割弱に当たる47館との連携を実現する。

<sup>52</sup> NDLサーチで連携済みであるか、未連携かつ検索画面を持っているデジタルアーカイブの総計。

## 5.3. 学術研究機関

### 5.3.1. 大学図書館

大学図書館は、調査研究図書館の一つである当館として重視する領域であり、今後の連携拡張においても優先度は高いが、大学共同利用機関法人である NII がメタデータ等のアグリゲータとして機能しており、同研究所との協力により効率的に連携拡張を進めることが最も有効だと考えられる。

#### 5.3.1.1 デジタルアーカイブ<sup>53</sup>

大学図書館のデジタルアーカイブには、大きく分けて「研究成果のアーカイブ」である機関リポジトリと、「所蔵資料の（デジタル化資料の）アーカイブ」が存在する。一般に、単に「デジタルアーカイブ」と言った時には、機関リポジトリと区別する意味で後者を指す<sup>54</sup>。ここでは後者の狭義のデジタルアーカイブを扱う。大学図書館のデジタルアーカイブにアグリゲータと言える存在はないため、NDL サーチが個々のデジタルアーカイブと直接に連携する必要があるだろう。

この度、日本図書館協会の『日本の図書館 統計と名簿 2013』に掲載された各図書館の Web サイトに悉皆的にアクセスすることで、以下の状況を確認することができた。

区分	総数 * 739 館のうち	うち NDL サーチ連携済み * 機関リポジトリに投入されていることにより、 JAIRO 経由で連携しているものを含む。	うち NDL サーチ未連携	
			検索画面有 (うち API 実装済みは 1 システム)	検索画面無
大学図書館デジタルアーカイブ	91	15	33	43

表 5-4. 大学図書館におけるデジタルアーカイブ構築状況(平成 26 年 6 月現在)

今回の調査で確認できた範囲では、大学図書館のデジタルアーカイブは全部で 91 存在していた。うち NDL サーチで連携済みであるのは 15 であり、網羅率は 20% を下回った (15/91)

<sup>53</sup> ここでは、大学組織のうち大学図書館以外が運営する研究プロジェクトベースのデジタルアーカイブ（例えば、立命館大学アート・リサーチセンター、昭和音楽大学オペラ研究所等）は記述の対象としていない。

<sup>54</sup> 米澤誠. 大学図書館におけるデジタルアーカイブ（「文化・学術機関におけるデジタルアーカイブ等の運営に関する調査研究」第 1 章 第 4 節）. <http://current.ndl.go.jp/node/17891> [accessed 2015-0226] 等による。なお後述の事情から、これら 2 つのカテゴリーは、実態としては画然とは分けられない。

55. また、未連携かつ検索画面を持っている（＝検索機能を持っている）システムは 33 存在するものの、「API を実装しているもの」は 1 システムのみであった。大学図書館のデジタルアーカイブの世界でも、API の普及は今後の課題である。

なお、少し前から、「所蔵資料のアーカイブ」を機関リポジトリで兼ねる、つまり構築した機関リポジトリに自館で所蔵する貴重書等のデジタル化資料を投入する、という大学が散見されるようになった<sup>56</sup>。このケースでは、機関リポジトリ及び JAIRO 経由で、NDL サーチとの連携が自動的に成り立つことになる（「5.3.1.2. 機関リポジトリ」を参照）。

上記より、この領域については、現時点の当館の人員と予算の制約で実現可能な実施事項として以下が想定される。なお、進め方としては、現時点で API を実装しているデジタルアーカイブとの連携を、できる限り早く実現し、API 未実装のデジタルアーカイブについては、API 実装を促進しつつ、データ件数が多いデジタルアーカイブとの連携を順次進めることが考えられる。また、最終的には、全てのデジタルアーカイブと連携することを目標とするべきである。

- ▶ 現在 15 大学と連携実施済みであるが、今後年間約 2 館と連携を行う。
- ▶ 5 年後には、全体<sup>57</sup>（48 大学）のうち、約 5 割に当たる 25 大学との連携を実現する。

### 5.3.1.2 機関リポジトリ

広義の大学図書館のデジタルアーカイブのうち、機関リポジトリは「研究成果のアーカイブ」に当たる。

---

<sup>55</sup> 検索画面があるものに限定すると、網羅率は約 30%（15/48）。

<sup>56</sup> 一例として、一橋大学附属図書館が運営する「HERMES-IR: Special Collections」<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/> [accessed 2015-0226] は、「雑誌掲載論文・学位論文・紀要論文・研究調査報告・会議発表資料・図書・その他」に加え、「フランクリン文庫・井藤半彌旧蔵ドイツ紙幣等コレクション・戦前期アジア諸国写真コレクション・附属図書館所在肖像画等コレクション」をも保存・公開している。他にも、大阪大学、東京学芸大学、法政大学等の機関リポジトリには、貴重書のデジタル化資料が含まれている。

<sup>57</sup> NDL サーチで連携済みであるか、未連携かつ検索画面を持っているデジタルアーカイブの総計。

区分	総数 * 739 館のうち	うち NDL サーチ連携済み * 機関リポジトリに投入されていることにより、JAIRO 経由で連携しているもの。	うち NDL サーチ未連携
大学図書館機関 リポジトリ <sup>58</sup>	491	399	92

表 5-5. 大学図書館における機関リポジトリ構築状況

機関リポジトリのアグリゲータとして、JAIRO<sup>59</sup>が想定できる(大学図書館以外を含む)。上の表を見ると分かるように、JAIRO は、アグリゲータとしての役割を果たしている。既述のように、NDL サーチは JAIRO と既に連携しており、個々の機関リポジトリと直接連携する必要はないと考えてよいだろう。なお、学位規則改正や NII が運営する共用リポジトリサービス「JAIRO Cloud」の拡大により、今後も、新規に機関リポジトリが構築され、JAIRO の対象となる大学図書館は増加する見込みである。また、機関リポジトリ推進委員会においては、研究データ等の文献にとどまらないコンテンツを扱うことも検討されており、貴重書等を含め、多様なコンテンツが含まれてくる可能性もある。

上記より、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。連携拡張については、JAIRO を提供する国立情報学研究所 (NII) との協力で効率的に進めることが望ましい。

- NII との協力により、機関リポジトリは網羅的に検索対象とし、コンテンツへのアクセスを提供することを目指す。

### 5.3.1.3 総合目録<sup>60</sup>

大学図書館蔵書目録のアグリゲータとして、NII が運営する CiNii Books<sup>61</sup>が想定できる。CiNii Books は、全国の大学図書館等が所蔵する本(図書や雑誌等)の情報を検索で

<sup>58</sup> ここでの数値は、JAIRO にて機関リポジトリと見なしているものを対象として記載しており、大学共同利用機関法人等、厳密には大学ではない機関も含んでいる。

<sup>59</sup> <http://ju.nii.ac.jp/> [accessed 2015-0226] 国立情報学研究所 (NII) が運営する。

<sup>60</sup> ここでは、インターネット上で公開されている OPAC のみを記述の対象としている。

<sup>61</sup> <http://ci.nii.ac.jp/books/> [accessed 2015-0226] 平成 23 年公開。Webcat (平成 10 年公開、平成 24 年度末を以てサービスを終了) の後継システム。なお、類似のシステムとして、研究事業として運営されている Webcat Plus <http://webcatplus.nii.ac.jp/> [accessed 2015-

きるサービスであり、NII が運用する目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)<sup>62</sup>に蓄積されてきた全国の大学図書館等約 1,200 館が所蔵する、約 1,000 万件（のべ 1 億冊以上）（平成 26 年 4 月時点）の本の情報等の検索が可能である。CiNii Books はアグリゲータとしての役割を果たしており、NDL サーチが個々の大学図書館 OPAC と直接連携する必要はないと考えてよいだろう。

上記より、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。

➤ 引き続き、NII との協力により、効率的に連携拡張を進める。

### 5.3.2. 学協会<sup>63</sup>

学協会が発信する情報、とりわけ電子ジャーナル<sup>64</sup>の統合検索機能は、従来 NII、JST が担ってきた領域であり、今後も両機関との協力により効率的に連携拡張を進める必要がある。この領域で、統合検索機能を提供するシステムとして、JST が運営する J-STAGE<sup>65</sup>と、NII が運営する CiNii Articles<sup>66</sup>がある。

J-STAGE は、投稿審査、編集・公開機能を含む総合電子ジャーナルプラットフォームである。学協会は、自ら作成した電子データ（書誌等のメタデータ、全文 PDF データ等）を J-STAGE に掲載することにより、その活動成果（論文等）をインターネット上で公開することが可能である。また、過去の学術誌（当初紙媒体で刊行されたもの）をデジタル化した資料も掲載されており、検索・閲覧が可能である<sup>67</sup>。収録誌数約 1,850、全収録記事数約 263 万件という規模を誇っている（平成 27 年 2 月時点）。

CiNii Articles は、広く学術論文情報を検索の対象とする総合的な論文データベース・サービスであり、その中には、電子図書館事業（NII-ELS）<sup>68</sup>に基づき紙媒体からデジタル化された学協会刊行物も含まれている<sup>69</sup>。こちらは、収録誌数約 4,800、全収録記事数約 515

---

0226] がある。

<sup>62</sup> <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/cat/> [accessed 2015-0226]

<sup>63</sup> 研究者が互いの連絡、知識や情報の交換、研究成果の発表のために組織した団体の総称。この種の団体には協会という名称を用いるものもあるため、ここではより一般的な‘学会’ではなくこの呼称を用いる。

<sup>64</sup> ここでは、最初からデジタル資料として刊行されたもの（いわゆるボーンデジタル）と、当初紙媒体で刊行され、後にデジタル化されたものの双方を含む。

<sup>65</sup> <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/> [accessed 2015-0226]

<sup>66</sup> <http://ci.nii.ac.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>67</sup> 以前は Journal@rchive という名称で J-Stage とは別システムとして公開されていたが、平成 24 年に吸収・統合された。

<sup>68</sup> [http://www.nii.ac.jp/nels\\_soc/](http://www.nii.ac.jp/nels_soc/) [accessed 2015-0226]

<sup>69</sup> なお、CiNii Articles では、大学研究紀要、当館の雑誌記事索引データベース、J-Stage の

万件という規模を誇っている（平成 26 年 9 月時点）<sup>70</sup>。

現時点では、J-STAGE、CiNii Articles は基本的に相互排他的な関係にある<sup>71</sup>。NDL サーチでは、いずれのシステムとも連携している。

そのような中、平成 26 年 4 月に、JST より、J-STAGE LITE（仮称）という新たなサービスを開発・公開することが公表された<sup>72</sup>。今後も、JST、NII の新規のシステムやサービスの変更等の動向については引き続き注視し、両機関と協調しつつ、状況の変化に適宜対応する必要があるだろう。

この領域については、有料の電子ジャーナルやそれを集約するアグリゲータも多数存在するが、NDL サーチでは、「一般利用者にとって、一次情報の入手までの障壁が低いものを重視する」という方針にのっとり、引き続き当面は、オープンアクセスジャーナルのみを対象とするのが妥当だろう。なお、国内発のオープンアクセスジャーナルについては、科学研究費助成事業、内閣府に設けられた「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会」における検討等の動向<sup>73</sup>にも注視する必要がある。

上記により、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。

- 引き続き、JST、NII との協力により、効率的に連携拡張を進める。

---

データ等も検索可能だが、NDL サーチでは他のシステムとの連携によりカバーしている領域であるため、ここでは省く。

<sup>70</sup> この数値には、紀要等学協会以外が刊行する資料群も含まれている。

<sup>71</sup> 「国立情報学研究所（NII）と科学技術振興機構（JST）の学術雑誌電子化関連事業の連携・協力について」[http://www.nii.ac.jp/nels\\_soc/2008/10/pdf/NII\\_JST.pdf](http://www.nii.ac.jp/nels_soc/2008/10/pdf/NII_JST.pdf) [accessed 2015-0226] 等を参照。

<sup>72</sup> 「J-STAGE Lite（仮称）の開発について」[https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S560\\_ja.html](https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S560_ja.html) [accessed 2015-0226] を参照。既存の J-STAGE より掲載要件を緩め、査読・審査を経ない電子ジャーナル、予稿集、会議録、研究報告書、技術報告書等といった幅広いコンテンツを登載・発信することを可能とするものだということである。なお、同年 5 月には NII より、NII-ELS を終了することが公表され、さらには NII-ELS のデータの移行先の一つとして、J-STAGE Lite が案内された。

<sup>73</sup> 科学研究費助成事業の研究成果促進費費は、従来学術誌の刊行を助成してきたが、平成 25 年度には種目「学術定期刊行物」を見直し、新たな種目「国際情報発信強化」を設けた。この中にはオープンアクセスジャーナルのスタートアップを支援する区分も設けられている。また、内閣府の「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会」<http://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/index.html> [accessed 2015-0226] は、公的研究資金から発生した科学論文（出版物）については原則公開とする方向で方針案をまとめつつあり、この方針は第 5 期科学技術基本計画にも何らかの形で取り入れられる見込みである。さらには、独立行政法人物質・材料研究機構（NIMS）とスイス連邦材料試験研究所（Empa）によるオープンアクセスジャーナルの国際共同刊行等の動きもある。

### 5.3.3. その他

前項までで記した領域以外の学術研究機関が扱う科学技術情報については、JST が管理・運営するシステムが重要である。とりわけ J-GLOBAL<sup>74</sup>は、多くの科学技術情報を集約しており、有用性が高い。

また、省庁所管の研究機関の動向も注視する必要がある。中でも、文部科学省所管の人間文化に関わる研究機関、具体的には国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館の 6 研究機関は、100 を超えるデータベースを構築・提供しているが、そのアグリゲータとして、上位組織である人間文化研究機構<sup>75</sup>は、「人間文化研究機構 統合検索システム」<sup>76</sup>を運営している。NDL サーチは、既にこの統合検索システムとの連携を実現しており、今後 6 研究機関が新しいデータベースを構築し、提供を開始した場合、当該データベースは自動的に、統合検索システム経由で NDL サーチの検索対象となる。

人間文化研究機構に関連する最近の動きとして、国文学研究資料館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」<sup>77</sup>がある。それも含め、同機構とは今後も情報共有を図り、状況の変化に適宜対応する必要があるだろう。

上記より、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。

- ▶ 大学図書館、学協会以外の学術研究機関が扱う科学技術情報について、JST との協力により、効率的に連携拡張を進める。
- ▶ 引き続き人間文化研究機構と情報共有を図る。
- ▶ 他省庁所管の研究機関の動向を注視する。

<sup>74</sup> <http://jglobal.jst.go.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>75</sup> <http://www.nihu.jp/> [accessed 2015-0226] 平成 16 年設立。当初は国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所および国立民族学博物館の 5 つの機関で構成されていたが、平成 21 年に新たに国立国語研究所が加わった。

<sup>76</sup> <http://int.nihu.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>77</sup> <https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/images/201311pampuhlet.pdf> [accessed 2015-0226] 国文学研究資料館が中心となって、国内外の大学等と連携し、日本語の歴史的典籍約 30 万点を画像データ化し既存の書誌情報データベースと統合させた、歴史的典籍の学術研究に関する我が国で最大唯一のものとなる「日本語の歴史的典籍データベース」を作成し、その画像を用いた研究を行う国際共同研究ネットワークを構築するというもの。拠点大学として国内の 20 大学が参画する他、国文学研究資料館の学術交流協定機関を中心とした海外の大学・研究機関等とも連携するとのことであり、古典籍分野のアグリゲータと言える。「導入説明書」<http://www.nijl.ac.jp/pages/advertisement/images/dounyuu240430.pdf> [accessed 2015-0226] によると、同データベースも、構築後には人間文化研究機構統合検索システムの検索対象となる見込みであるため、NDL サーチからも検索可能となることが想定される。

## 5.4. 公文書館

この領域のデータベースとしては、国のレベルでは、国立公文書館<sup>78</sup>が運営するアジア歴史資料センターデータベース<sup>79</sup>、そして国立公文書館デジタルアーカイブ<sup>80</sup>がある。後者では、各府省等から移管された公文書（約 75 万冊分）の他、内閣文庫（約 48 万冊分）の目録データ及び約 612 万コマのデジタル資料が提供されている。また、地方自治体では、公文書館の設置自体が義務ではなく努力義務であることもあって<sup>81</sup>、現状では十分に進んでいるとは言えない<sup>82</sup>ものの、既に設置された館の中には、デジタルアーカイブを構築・提供しているところもある。

この度、国立公文書館の「関連リンク集」<sup>83</sup>等によって悉皆的な調査を行い、以下の状況を確認することができた<sup>84</sup>。

区分	総数	国立公文書館の 横断検索対象	NDLサーチ で連携済み	DBあり			
				うち連携 IFあり			
				目録	DA	目録	DA
公文書館	109	9	8	49	29	15	11

表 5-6. 公文書館における目録 DB 及びデジタルアーカイブ構築状況(平成 26 年 12 月現在)

なお、国立公文書館が運営する横断検索システム<sup>85</sup>では、埼玉県立文書館、東京都公文書館等九つの公共団体等の公文書館のデータベースを横断検索可能である（平成 27 年 2 月時点）。国立公文書館が平成 21 年に定めた「独立行政法人国立公文書館デジタルアーカイブ推進要綱」<sup>86</sup>によると、同館は、「全国の公文書館等への技術支援」という役割を担っており<sup>87</sup>、今後、徐々に地方公共団体等のデジタルアーカイブとの連携を拡張することが期待され

<sup>78</sup> 昭和 46 年 7 月に総理府の附属機関として設置され、平成 13 年 4 月に独立行政法人へと改組された。

<sup>79</sup> <http://www.jacar.go.jp/> [accessed 2015-0226] 平成 13 年に公開。

<sup>80</sup> <http://www.digital.archives.go.jp/> [accessed 2015-0226] 平成 17 年に公開。

<sup>81</sup> 「公文書等の管理に関する法律」（平成 21 年 7 月 1 日法律第 66 号）第 34 条による。

<sup>82</sup> 石田耕一. 地方公共団体における公文書館的機能への着目について. アーカイブス. 2014 年 6 月, 第 53 号, P.27-33, [http://www.archives.go.jp/about/publication/archives/pdf/acv\\_53\\_p27.pdf](http://www.archives.go.jp/about/publication/archives/pdf/acv_53_p27.pdf) [accessed 2015-0226] によると、平成 26 年 4 月時点で、地方公共団体が設置済みの公文書館は計 68 館。

<sup>83</sup> <http://www.archives.go.jp/links/> [accessed 2015-0226]

<sup>84</sup> 国立公文書館に類する施設、国の保存利用機関、類縁機関、大学アーカイブ、全国公文書館を含むため、脚注 74 の数値とは一致しないことに留意。

<sup>85</sup> <http://www.digital.archives.go.jp/globalfinder/cgi/start> [accessed 2015-0226]

<sup>86</sup> [http://www.archives.go.jp/owning/d\\_archive/pdf/youkou.pdf](http://www.archives.go.jp/owning/d_archive/pdf/youkou.pdf) [accessed 2015-0226]

<sup>87</sup> 「全国の公文書館等における目録情報や資料のデジタル化に関する知識・技術上の情報不足という障害を解消するため、標準的なデジタルアーカイブの仕様書について検討、作成する等、取り組んできた。今後も、こうした取組を推進し、標準的なデジタルアーカイブの普及・促進、連携を進めていくこととする」としている。

る。

上記より、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。

- 国立公文書館等との協力により、効率的に連携を拡張することを目指す。

## 5.5. 博物館・美術館

デジタルアーカイブの世界で MLA 連携<sup>88</sup>という言葉聞くようになって久しい。例えば当館では、平成 22 年から平成 23 年にかけて、「デジタル情報資源に関する博物館・美術館、図書館、文書館等の連携（MLA 連携）を深め、関連する共通の諸課題を解決していく」ことを目的として、計 3 回、デジタル情報資源ラウンドテーブルを開催した<sup>89</sup>。その流れに沿い、NDL サーチは、博物館・美術館の収蔵品のメタデータも検索対象としている。現状で連携しているのは下記の 3 システムである。

No	区分	名称	メタデータ 件数	連携方法	対象機関
1	博物館	e 国宝 <sup>90</sup>	約 1,000 件	OpenSearch 横断検索	国立文化財機構：東京/京都/奈良/九州国立博物館
2	美術館	国立美術館所蔵作品総合目録検索システム <sup>91</sup>	約 50,000 件	手動	独立行政法人国立美術館：東京国立近代美術館／京都国立近代美術館／国立西洋美術館/国立国際美術館
3	博物館	奈良国立博物館収蔵品 DB <sup>92</sup>	約 1,300 件	手動	奈良国立博物館

表 5-7. NDL サーチにおいて連携済みの博物館・美術館のシステム(平成 26 年 12 月現在)

上記により、国立の博物館・美術館は機関のレベルでは網羅できている<sup>93</sup>。

<sup>88</sup> NDL サーチあるいは Current Awareness Portal での検索によると、この文脈で「MLA 連携」という言葉が頻繁に見られるようになったのは、平成 21 年頃のものである。この年には、「日本の MLA 連携の方向性を探るラウンドテーブル」（知的資源イニシアチブ主催）、「日本のアート・ドキュメンテーション—20 年の達成 MLA 連携の現状、課題、そして将来」（アート・ドキュメンテーション学会主催）が開催された。そして平成 22 年度には、『MLA 連携の現状・課題・将来』、『図書館・博物館・文書館の連携』（ともに勉誠出版）という代表的な論集が刊行された。

<sup>89</sup> <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/roundtable.html> [accessed 2015-0226]

<sup>90</sup> <http://www.emuseum.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>91</sup> <http://search.artmuseums.go.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>92</sup> <http://www.narahaku.go.jp/collection/> [accessed 2015-0226]

<sup>93</sup> 機関により、必ずしも全ての収蔵品のデータがシステムに投入されている訳ではなく、また

一方で、都道府県立・市町村立の博物館・美術館については、現状では基本的に連携できていない<sup>94</sup>が、それらのメタデータを横断的に検索可能としているのが、文化庁が運営する「文化遺産オンライン」<sup>95</sup>である。同システムは、博物館・美術館等に収蔵される文化遺産のデータを指定・未指定を問わず広く登録し、検索・閲覧を可能とするポータルサイトであり、登録館数は約 950 館、データ件数は約 11 万 5 千件に及ぶ（平成 27 年 1 月時点）<sup>96</sup>。都道府県立・市町村立の博物館・美術館について、完全ではないものの、かなりの部分を網羅していると考えられ<sup>97</sup>、今後も拡張の方向性が示されている<sup>98</sup>。ただし、NDL サーチは、文化遺産オンラインとは、現時点で未連携である。

なお、博物館・美術館は、文化財だけでなく、併設する図書室等で展覧会カタログを始めとする紙媒体の資料を所蔵しており、蔵書目録を公開している場合もある。それらについても、今後視野に入れる必要がある<sup>99</sup>。

上記より、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。

- 文化庁等との協力により、効率的に連携を拡張することを目指す。

## 5.6. 海外のシステム

「1.2. NDL サーチの連携対象」にもあるとおり、NDL サーチは、国の中央図書館としての当館の使命に鑑み、国内のデータベースを重視しており、国外のデータベースは連携先として優先的なものとは見なしていない。ただし、国立図書館として役割を考慮すると、日本の刊行物及び刊行物と同等の内容を有するコンテンツを含むデータベースについては、選

---

システム中のメタデータの全てが NDL サーチに提供されている訳ではない場合もあるため、収蔵品のレベルで網羅できている訳ではない。

<sup>94</sup> 例外的に、秋田県立図書館デジタルアーカイブ、信州デジくら等があり、地域（都道府県域等）のレベルで MLA 連携ができているシステムと連携している場合に、結果的に博物館・美術館の収蔵品までが検索対象となっている、というケースはある。

<sup>95</sup> <http://bunka.nii.ac.jp/Index.do> [accessed 2015-0226]

<sup>96</sup> データとしては、「画像+メタデータ」のものと、「メタデータのみ」のもの双方を含んでいる。

<sup>97</sup> 文部科学省の「社会教育調査－平成 23 年度結果の概要」によると、平成 23 年 10 月時点で、全国の博物館数は 1,262 館であった（「博物館類似施設」を除く）。

<sup>98</sup> 「文化遺産オンライン情報登録」のページ <http://bunkaedit.nii.ac.jp/> [accessed 2015-0226] に、「日本国内の文化遺産情報の総覧を可能にし、さらには世界に向けて発信することを目指す」という記述がある。

<sup>99</sup> 例えば、美術図書館横断検索 <http://alc.opac.jp/> [accessed 2015-0226] では、美術図書館連絡会に加盟する東京国立近代美術館、国立新美術館等 9 館の蔵書を横断検索することが可能である。

択的に検索対象とすることが望ましい。例えば、Europeana や DPLA といった統合的な検索サービスが、日本に関するコンテンツを含んでおり、そのメタデータを授受する合理的な方法があるのであれば、検索対象とすることを検討すべきだろう。

また、日中韓電子図書館イニシアチブ（China-Japan-Korea Digital Library Initiative: CJKDLI）<sup>100</sup>の枠組みでの、中国国家図書館（文津検索システム<sup>101</sup>）、韓国国立中央図書館（Dibrary<sup>102</sup>）との連携については、引き続き進めていく必要がある。さらに将来的には、日中韓の枠組み、あるいはアジア全体の枠組みが構築されることが望まれる。そのようなものが構築された時、NDL サーチはメタデータを提供する側に関わることが想定される。NDL サーチにおける連携拡張は、それを見据えて進める必要があるだろう。

上記より、この領域については、今後 5 年間を目途とした実施事項として以下が想定される。

- CJKDLI の枠組みで、中国国家図書館との連携を目指し、三国間での連携拡張を進める。
- Europeana や DPLA 等海外の主要な統合検索サービスとの連携について、調査及び協議を行い、連携を検討する。

## 5.7. その他

前項までで記載した領域と異なり、NDL サーチが現在までに十分には、あるいは全く接触できていない領域がある。本項ではそれらの中でも代表的な領域について概観を記載する。本項に記載した領域については、概ね次の進め方が想定される。

- ① まずは、各領域の実態をさらに調査する。
- ② 次いで、前項の調査の結果を踏まえ、領域を代表する機関と協議する。
- ③ 前項の協議の結果を受け、アグリゲータとの連携を順次実施する。

### 5.7.1. 官庁資料

国立国会図書館法では、国、地方公共団体、独立行政法人等の公的機関による出版物（紙媒体）に対し、その発行機関に納入義務を課している。インターネット資料についても、

---

<sup>100</sup> <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/dlib/cooperation/index.html#anchor2-3> [accessed 2015-0226]

<sup>101</sup> <http://find.nlc.gov.cn/> [accessed 2015-0226] NDL サーチとは平成 26 年度現在で未連携。

<sup>102</sup> <http://www.dibrary.net/> [accessed 2015-0226] NDL サーチとは双方向で連携済み。

上記の機関が「公衆に利用可能として、又は当該者がインターネットを通じて提供する役務により公衆に利用可能とされた」ものを収集対象と定めている。その規定に基づき、インターネット資料収集保存事業（ウェブサイト別）において公的機関のウェブサイトを網羅的に収集し、ウェブサイト・アーカイブ(WARP)<sup>103</sup>によって保存・提供する他、電子書籍・電子雑誌については、収集したウェブサイトの中から取り出し、タイトルや著者名等のデータを付した上で、国立国会図書館デジタルコレクション（電子書籍・電子雑誌）<sup>104</sup>でも保存・提供している<sup>105</sup>。そしてそれらのシステムとの連携により、官庁資料のかなりの部分が、NDLサーチで検索可能となっている。

そのような中、注目すべき動きとして、内閣官房によるデータカタログサイト「DATA.GO.JP」<sup>106</sup>の開設がある。世界的に政府情報のオープンデータ化が進む中で、NDLサーチにおいても、それらのデータを検索可能とすることを検討する必要があるだろう。

### 5.7.2. 専門図書館

専門図書館においてもデジタルアーカイブ構築の動きが確認できる。専門図書館協会加盟館 207 機関のうち（大学図書館は除外）、各サイト等からデジタルアーカイブの存在が確認できたのは 38 機関であった（平成 27 年 7 月 1 日調査時点）。38 機関のうち、NDLサーチと直接連携している対象は 2 機関であり、5%に過ぎない。

この領域については、まずは専門図書館協会との協議等により、さらに現状を把握する必要があるだろう。

### 5.7.3. 企業アーカイブ

企業においても、経営学的に重要な資料（非現用となった後は‘史料’）が日々作成・蓄積され、企業アーカイブを形成している。ただし、平成 26 年度時点では、この領域について公開されたデジタルアーカイブは多くはないようである。この領域については、引き続き

---

<sup>103</sup> <http://warp.da.ndl.go.jp/> [accessed 2015-0226]

<sup>104</sup> <http://dl.ndl.go.jp/#internet> [accessed 2015-0226]

<sup>105</sup> 平成 25 年 7 月 1 日には、改正国立国会図書館法に基づき、民間が出版した電子書籍・電子雑誌の収集・保存を開始した。当面、無償かつ DRM（技術的制限手段）のないものが対象。

<sup>106</sup> <http://www.data.go.jp/> [accessed 2015-0226] 各府省の保有データをオープンデータとして利用できる場として整備されたもので、多数のデータセットが登録され、ダウンロード可能となっている。

デジタルアーカイブの公開状況を注視しつつ<sup>107</sup>、まずは企業史料協議会<sup>108</sup>等の関連団体と、適宜状況の共有を図る必要があると考えられる。また、経営史という観点からは、公益財団法人渋沢栄一記念財団が運営する、実業史研究情報センター<sup>109</sup>と適宜連携することも必要だろう。

#### 5.7.4. 文学館

日本近代文学館の呼びかけで発足した全国文学館協議会<sup>110</sup>には、全国の文学館・記念館約750館<sup>111</sup>のうち99館（準備館含む。）が加入している。加入館のうち18館に収蔵資料や図書・雑誌検索システムがあるが、デジタルアーカイブがあるのは2館のみである。しかし、立命館大学アート・リサーチセンターと県立神奈川近代文学館の連携による資料デジタルアーカイブ構築の推進<sup>112</sup>や「福井ふるさと文学館（仮称）」のアーカイブ資料の収集・保存準備<sup>113</sup>等が進められている。収蔵資料の著作権問題、寄託・寄贈者の許可等、文学館資料のデジタルアーカイブ公開へのハードルは高いが、その動きは進んでおり、引き続き状況を注視する必要がある。

#### 5.7.5. マンガ・アニメ・ゲーム等

この領域については、我が国のメディア芸術作品に係る保存と活用を促進するため、その基盤となるデジタルアーカイブを構築し、我が国メディア芸術の振興を図ることを目的とする、文化庁のメディア芸術デジタルアーカイブ事業の状況が重要である。ここでの「メデ

---

<sup>107</sup> なお、凸版印刷の平成26年8月12日ニュースリリース <http://www.toppan.co.jp/news/2014/08/newsrelease140812.html> [accessed 2015-0226] によると、同社は、企業によるアーカイブ構築を支援する「企業アーカイブ・コンサルティングサービス」の提供を開始したということである。企業アーカイブについては、このようなサービスの動向も注視する必要があるだろう。

<sup>108</sup> <http://www.baa.gr.jp/index.asp> [accessed 2015-0226]

<sup>109</sup> <http://www.shibusawa.or.jp/center/index.html> [accessed 2015-0226] なお、同センターが運営する「実業史錦絵絵引」 <http://ebiki.jp/> [accessed 2015-0226] は、「日本実業史博物館コレクションデータベース」として、「人間文化研究機構 統合検索システム」の検索対象となっており、結果的にNDLサーチと連携済みである。

<sup>110</sup> <http://www.bungakukan.or.jp/zenbunkyo/history/> [accessed 2015-0226]

<sup>111</sup> 全国の文学館数は文学館研究会 HP の文学館一覧 <http://literarymuseum.net/lm-list.html> [accessed 2015-0226] を参照。

<sup>112</sup> 立命館大学. 「県立神奈川近代文学館および公益財団法人神奈川文学振興会と立命館大学との連携協力に関する包括協定を締結」 [http://www.ritsumei.jp/news/detail\\_j/topics/12836/year/2014](http://www.ritsumei.jp/news/detail_j/topics/12836/year/2014) [accessed 2015-0226]

<sup>113</sup> 柳沢 英美子. 福井県文書館・図書館の新デジタルアーカイブ・システム —システム更新を契機とした図書館との連携—. アーカイブス. 2014年10月, 第54号, P.14-17, [http://www.archives.go.jp/about/publication/archives/pdf/acv\\_54\\_p14.pdf](http://www.archives.go.jp/about/publication/archives/pdf/acv_54_p14.pdf) [accessed 2015-0226]

「メディア芸術」には、デジタル技術を用いて作られたアート（インタラクティブアート、インスタレーション、映像等）、アニメーション、マンガ、ゲーム等が含まれる。同事業は、平成22年度から5か年にわたり、我が国でこれまでに創造されてきたメディア芸術作品の全体像（作品情報及び所蔵情報）の調査等を行ってきたが、平成27年3月に、その成果の一環として、「メディア芸術データベース（開発版）」<sup>114</sup>を公開した。今後、このデータベースがどのように運営され、発展していくのか、注視していく必要がある。

#### 5.7.6. 映像

映像・音声コンテンツは、各種デジタルアーカイブのコレクションの一部として提供されている場合、あるいは各種動画投稿サイトを含め、映像・音声に特化したデジタルアーカイブとして管理されている場合等が想定される。ただし、アクセス制限なく視聴可能なものは、記録映画のデジタルアーカイブ等一部にとどまっておき、放送番組等のデジタルアーカイブに見られるように、大半は何らかのアクセス制限がかかっているのが現状だろう。今後は、教育コンテンツ等を含め、アクセス制限なく視聴可能なコンテンツを提供するデジタルアーカイブとの連携を優先し、発見可能なコンテンツの多様化を図ることが望まれる。

#### 5.7.7. 出版社（近刊情報等）

「5.1. NDL内のシステム」で述べたように、当館は、納本制度により、紙媒体の国内刊行物についてはアグリゲータとしての機能を自ら果たしている。また、有償オンライン刊行物についても課題として認識しており、今後、「オンライン資料収集制度（eデポ）」の枠組みでの収集に向け、法制度の整備、ステークホルダとの調整を進める想定である。

ただし、上記が成立しているのは（あるいは今後の成立を目指しているのは）、あくまで刊行済みの刊行物に関してである。ユーザのニーズを踏まえると、納本制度（あるいはオンライン資料収集制度）を補完し、近刊情報をも提供する必要がある。そのために、NDLサーチは既に、JPO 近刊情報センター<sup>115</sup>と連携している。今後はさらに、我が国における電子書籍刊行のさらなる発展を見据えつつ、日本書籍出版協会<sup>116</sup>、日本電子書籍出版社協会<sup>117</sup>等との連携も視野に入れ、検討を進める必要があるだろう。

---

<sup>114</sup> <http://mediaarts-db.jp/top.html> [accessed 2015-0318]

<sup>115</sup> <http://www.kinkan.info/> [accessed 2015-0226]

<sup>116</sup> <http://www.jbpa.or.jp/index.html> [accessed 2015-0226]

<sup>117</sup> <http://ebpaj.jp/> [accessed 2015-0226]

#### 5.7.8. 辞書サイト

事典・辞書サイトと連携することにより、例えば、言葉の読み方や事項の意味・定義が不明な場合に、信頼の置ける事典・辞書を即座に調べることができ、あるいは、適切な検索語の発見を導くことが可能となる。NDLサーチでは、代表的な事典・辞書類を収録したJapanKnowledge<sup>118</sup>と既に連携済みである。今後は、専門分野に特化した事典等、他の有用なデータベースと連携することが考えられる。

---

<sup>118</sup> <http://japanknowledge.com/> [accessed 2015-0226]

## 6. NDL サーチの中期的連携拡張ロードマップ

前章では、領域ごとに、連携の現状及び今後の実施事項の想定を記述した。その個々の連携拡張方針を領域横断的にまとめると以下のようなになるだろう。

- 国民の広い情報要求に応えるために、公共図書館との連携を最優先で進める。
- 上記に次ぎ、学術情報源にアクセスできるシステムを持つ大学図書館、オープンアクセスジャーナルプラットフォームとの連携を重視する。この際、従来から協力関係にある JST、NII との連携を重視する。
- 他領域については、まずは領域ごとにアグリゲータたり得る機関が存在するか等の調査を実施する。次いで関係者との協議を実施するが、協議の中では、アグリゲータの成立と拡張をできるだけ支援する。さらに、それにより成立したアグリゲータ等との連携実現に努力する。
- 原則としてはアグリゲータ経由での情報アクセス手段の提供を行うものとするが、アグリゲータ経由での情報アクセスが短期的には困難である場合には暫定的な当館から直接のアクセスも検討する。
- 以上の連携を効率的に進めるために、連携方式として、OAI-PMH、SRU/SRW を中心とした標準プロトコルの普及を図るとともに、これらを用いた WebAPI を実装した機関との連携を優先して行う。

上記のように、日本における API の普及と標準化の啓蒙活動は、直接的・間接的に NDL サーチの他機関との連携を円滑に行うことに寄与すると考えられ、当館が中心的に継続して行っていくべきことと考えられる。また、アグリゲータ・モデルを広い範囲の分野において可能とするために、現在成立している各アグリゲータと協同して利用促進等を行い、有効性をアピールしていくことが必要である。

このように長期的な日本全国のコンテンツへのアクセスを目指すために、中期的な計画として、現在存在するアグリゲータとの連携強化を中心とした活動を行うことが求められる。次ページに、このための想定ロードマップを掲載する。

図 6-1. NDL サーチの中期的連携拡張ロードマップ

領域		実施事項(平成27年度以降の5年間を目途)	5年間での達成事項
全般		連携対象システムへのAPI実装の促進	
公共図書館	総合目録	データ提供館との連携方式を、順次OAI-PMHに切替え	データ提供館のうち25館程度について、OAI-PMHへの切替えを実現
	デジタルアーカイブ	API実装済デジタルアーカイブとの連携	検索画面を持っており現時点で未連携のデジタルアーカイブのうち、15館程度との連携を実現
学術研究機関	大学図書館	現在API未実装のデジタルアーカイブとの連携(規模が大きいもの)	検索画面を持っており現時点で未連携のデジタルアーカイブのうち、10館程度との連携を実現
		機関リポジトリ	国立情報学研究所との協力により、効率的に連携を拡張
	総合目録	国立情報学研究所との協力により、効率的に連携を拡張	
	学協会	科学技術振興機構、国立情報学研究所との協力により、効率的に連携を拡張	
その他	省庁所管の各研究機関の動向を注視		
公文書館		国立公文書館等と協議 → 国立公文書館等との協力により、効率的に連携を拡張	
博物館・美術館		文化庁等と協議 → 文化庁等との協力により、効率的に連携を拡張	
海外のシステム		CJKDLIの枠組みでの協議を継続/その他のシステムとの連携について検討	
その他	官庁資料	各領域の実態を調査 → 各機関と協議 → 順次連携を実現	
	専門図書館		
	企業アーカイブ		
	文学館		
	マンガ、アニメ、ゲーム等		
	映像		
	出版社		
辞書サイト			

## 終わりに

前章までに記載した想定実施事項を進めていくことにより、NDL サーチの連携先は拡張され、それに伴い集約したメタデータの件数も大きくなり、領域ごとの網羅率も高くなると考えられる。これにより、NDL サーチのメタデータ提供のプラットフォームとしての価値が高まり、国全体の文化情報保存・活用のための基盤整備という観点からもその意義が評価されることが期待される。

しかし、NDL サーチの役割を考えると、メタデータの集約はすべきことの一側面に過ぎない。プラットフォームである以上、集約したメタデータは、様々なアクター（個人、機関、システム等）に利活用していただく必要がある。ただし、現状では、NDL サーチが提供するメタデータは、二次利用のライセンス情報を利用者に明示的に付与しておらず、メタデータの使用を躊躇させ得る状況となっている。今後の大きな課題として、メタデータのライセンス整備を進めることで、API 利用の障壁を下げる必要があるだろう。それについては今後、当館のメタデータ提供全体について整理を進める中で扱うことが求められる。

## **(資料編)**

- 資料編 1 : 海外の主要な統合検索サービス (平成 26 年 6 月現在)
- 資料編 2 : NDL サーチの検索対象データベース一覧 (平成 27 年 1 月現在)
- 資料編 3 : NDL サーチで今後連携が想定される公共図書館のデジタルアーカイブ一覧  
(平成 26 年 6 月現在)
- 資料編 4 : NDL サーチで今後連携が想定される大学図書館のデジタルアーカイブ一覧  
(平成 26 年 6 月現在)
- 資料編 5 : 公文書館デジタルアーカイブ一覧 (平成 26 年 12 月現在)
- 資料編 6 : 専門図書館デジタルアーカイブ一覧 (平成 26 年 7 月現在)
- 資料編 7 : NDL サーチ関連ドキュメント一覧 (平成 27 年 1 月現在)

資料編1 海外の主要な統合検索サービス例(数値は2014年6月時点)

		1	2	3	4	5	6	7	8
		複数国			単一国				
区分		World Digital Library	Europeana	The European Library ※1	BDPI	Trove	DPLA	Hispana	NDLサーチ ※1
基本	範囲	世界	EU	EU	イペロアメリカ	オーストラリア	米国	スペイン	日本
	国数	80	36	48	6	1	1	1	1
	機関数	182	2,300	90	6	1000+ (総目含む)	1300	194	78 (総目含まない)
	開始年	2009	2008	2005	2012	2009	2013	2010	2010
	主体	UNESCO, LC	EU	CENL	ABINIA	NLA	DPLA	スペイン文化省	NDL
	規模 メタ件数	1万	3000万	1億7千500万 ※2	14万	3億7千万 ※3	700万	480万	1億
収集・組織化	収集モデル	個別	アグリゲータ	個別	個別	個別	アグリゲータ	個別	個別/アグリゲータ
	収集範囲	国立/研究図	GLAM	国立/研究図	国立図書館	GLAM	GLAM	GLAM	GLAM
	収集対象	デジタル	デジタル	紙+デジタル	デジタル	紙(総目含む) +デジタル	デジタル	デジタル	紙(総目含む) +デジタル
	プロトコル (媒体授受除く)	不定期	OAI-PMH/FTP	OAI-PMH/FTP	OAI-PMH	XMLsitemap/RSS/API/OAI-PMH	OAI-PMH/API	OAI-PMH	OAI-PMH/FTP/RSS
	推奨形式	NA	EDM	EDM	NA	NA	DPLAメタ	—	DC-NDL
	ユーザ参加	NA	タグ付与	NA	NA	タグ付与/校正	—	—	NA
提供	提供方法	NA	一括DL[一部]/ API/SPARQL	一括DL[一部]/ OpenSearch	OpenSearch	API/SRU	一括DL/API	OAI-PMH?/SRU	OAI-PMH/SRU/ OpenSearch
	返戻形式	NA	JSON/RDF	JSON/XML(DC)/RDF	JSON	XML/JSON	JSON-LD	—	XML/RDF/JSON
	ライセンス	NA	CC0	NA	NA	NA	CC0	PD	NA

※1:ハーベスト以外の横断検索対象も実施  
 ※2:内訳は、紙が1億5千万、デジタルが2500万(デジタルのうち、550万がEuropeanaで収集されている)  
 ※3:内訳は、紙が1億3千万、デジタルが2億4千万(デジタルには、新聞記事やユーザによる追加情報等も含む)

資料編2 国立国会図書館サーチ 検索対象データベース一覧(平成27年1月現在)

名称	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
<b>国立国会図書館</b>				
名称	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
NDL-OPAC	国立国会図書館蔵書検索・申込システム。図書、雑誌新聞、電子資料、和古書・漢籍、博士論文、地図、音楽録音・映像資料、産原コレクションの検索、申込みが可能。	約720万件	ハーベスト	https://ndlopac.ndl.go.jp
NDL雑誌記事索引	当館の雑誌記事索引の一部が検索対象。	約1千万件	ハーベスト	https://ndlopac.ndl.go.jp
インターネット資料収集保存事業(WARP)	インターネット上で提供される電子雑誌、政府機関・協力機関のウェブサイト等の情報を収集・保存し、提供しているシステム。	約7,200タイトル	横断検索	http://warp.da.ndl.go.jp/
カレントアウェアネス	図書館に関する内外の最新動向と、図書館及び図書館情報学に関する調査・研究活動の成果を紹介するサイト。	約2,400件	ハーベスト	http://current.ndl.go.jp/
国立国会図書館DAISY資料	国立国会図書館が製作した「学術文献録音図書DAISY資料」のデータと、公共図書館が製作し国立国会図書館が収集した音声DAISYデータが検索できる。	約900件	ハーベスト	検索は国立国会図書館サーチからのみ可能
国立国会図書館デジタルコレクション(電子書籍・電子雑誌)	国立国会図書館が収集したインターネット上の刊行物を検索・閲覧できるシステム。国の機関や地方公共団体、独立行政法人、大学等がウェブサイトに掲載した白書、年鑑、報告書、広報誌、雑誌論文等を収録。	約18万件	ハーベスト	http://dl.ndl.go.jp/#internet
国立国会図書館デジタルコレクション	国立国会図書館で収集・集積されているさまざまなデジタル化資料を検索・閲覧できるシステム。	約227万件	ハーベスト	http://dl.ndl.go.jp/
国会会議録検索システム	第1回国会(昭和22(1947)年)以降の国会会議録をテキストとデジタル画像で閲覧できるシステム。会議名、発言者名、発言内容等で検索できる。	約9万2千件	横断検索	http://kokkai.ndl.go.jp/
児童書総合目録	日本国内で児童書を所蔵する機関の児童書・関連資料の所蔵情報を一元的に検索可能な目録システム。	約49万件	ハーベスト	http://iss.ndl.go.jp/kodomo/index.html
全国新聞総合目録データベース	新聞の所蔵機関、それぞれの機関が所蔵している新聞の検索、所在地、連絡先、公開・複写・レファレンスの可否等が提供するシステム。	約4万件	ハーベスト	http://iss.ndl.go.jp/shinbun/index.html
総合目録ネットワーク(ゆいなかねつ)	全国の都道府県立図書館・政令指定都市立中央図書館・国立国会図書館の所蔵する主に和図書を検索できる。	約4,400万件	ハーベスト	http://iss.ndl.go.jp/somoku/
帝国議会会議録検索システム	帝国議会全会期(明治23(1890)年～昭和22(1947)年)の速記録をデジタル画像で閲覧できるシステム。	約2万6千件	横断検索	http://teikokugikai-ndl.go.jp/
点字図書・録音図書全国総合目録	全国の公共図書館・点字図書館等が視覚障害者の利用に供するために製作した、点字図書・録音図書を検索できる。	約10万件	ハーベスト	https://ndlopac.ndl.go.jp
電子展示会	当館所蔵のユニークな資料を中心に、わかりやすい解説を加え、紹介している電子展示会。	約3,600件	ハーベスト	http://www.ndl.go.jp/jp/gallery/index.html
日本法令索引	明治19(1886)年以降の法令の制定・改廃等の情報と、帝国議会・国会に提出された法案の審議経過等の情報を検索できるシステム。	約14万3千件	横断検索	http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/
日本法令索引[明治前期編]	慶応3(1867)年の大政奉還から明治19(1886)年公文式施行に至るまでに制定された法令の制定・改廃情報を検索できるシステム。	約4万4千件	ハーベスト	http://dajokan.ndl.go.jp/SearchSys/index.pl
リサーチ・ナビ(調べ案内)	国立国会図書館職員が日々の業務の中で蓄積した、特定テーマ(トピック)の調べものに役立つ資料や調べ方のノウハウを提供するサイト。	約1,800件	ハーベスト	http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/
レファレンス協同データベース	公共図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館等におけるレファレンス事例、調べ方マニュアル、特別コレクション及び参加館プロフィールに係るデータを蓄積し、データをインターネットを通じて提供しているシステム。	約75,000件	ハーベスト	http://crd.ndl.go.jp/public/
<b>学術情報機関</b>				
名称[提供機関]	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
CiNii Articles [国立情報学研究所]	学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベース等、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。	学術論文情報約420万件	ハーベスト	http://ci.nii.ac.jp/
CiNii Books [国立情報学研究所]	全国の大学図書館等が所蔵する本(図書や雑誌等)の情報を検索できるサービス。	書誌情報約1,000万件	横断検索	http://ci.nii.ac.jp/books/
JAIRO [国立情報学研究所]	日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報を横断的に検索できる、学術機関リポジトリポータル。	大学等研究機関の学術情報約164万件	ハーベスト	http://jairo.nii.ac.jp/
J-STAGE [科学技術振興機構]	日本国内の科学技術情報関係の電子ジャーナル発行を支援するシステム。	約15万件	ハーベスト	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja
国立情報学研究所「東洋文庫所蔵」貴重書デジタルアーカイブ [国立情報学研究所]	シルクロードに関連した基本文献史料として著名な貴重書を、全ページデジタル化したデジタルアーカイブ。専門家によるテキスト入力・翻訳とOCR(文字認識)の併用により全文検索が可能。	約6万件	横断検索	http://dsr.nii.ac.jp/toyobunko/
人間文化研究機構 統合検索システム [人間文化研究機構]	人間文化研究機構を構成する6研究機関(国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館)が提供する100を超えるデータベースを検索できるシステム。 ※書誌詳細画面に表示される「データベースID」と各研究機関が提供するデータベース名との対応については、人間文化研究機構統合検索システムデータベース一覧をご覧ください。	約400万件	-	http://int.nihujp/
<b>公共図書館・地方公共団体</b>				
名称[提供機関]	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
秋田県立図書館デジタルアーカイブ [秋田県立図書館]	秋田県立図書館が所蔵する貴重資料や郷土資料のデジタル化資料及び雑誌新聞記事索引を公開するサイト	約44万件	ハーベスト	http://da.apl.pref.akita.jp/lib/
イーハトーブ岩手電子図書館(岩手県立図書館) [岩手県立図書館]	岩手ゆかりの宮澤賢治、石川啄木の作品や、岩手の古文書、地図等を公開するサイト。	88件	ハーベスト	http://www.library.pref.iwate.jp/ihatov/index/sakuin.html
茨城県立図書館デジタルライブラリー [茨城県立図書館]	茨城県立図書館が所蔵する貴重資料を、オンラインで公開するサイト。	41件	ハーベスト	http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/digital_lib/digital_lib_main.html

資料編2 国立国会図書館サーチ 検索対象データベース一覧(平成27年1月現在)

名称	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
石川県立図書館貴重資料ギャラリー+地域資料ライブラリー [石川県立図書館]	貴重資料ギャラリー:石川県立図書館が所蔵する貴重な文献の数々を閲覧できるサイト。 地域資料ライブラリー:石川県庁の出版物を中心に、インターネットで読める石川県内の資料を閲覧できるサイト。	約410件	ハーベスト	http://www.library.pref.ishikawa.jp/toshokan/index.html
観智の社Web(宮城県図書館) [宮城県図書館]	宮城県に関する記事・論文索引や、「伊達文庫」や「青柳文庫」等古典籍等の書誌情報やデジタル化資料といった宮城県図書館の持つ様々な知に届けることができる電子図書館。	約52,000件	ハーベスト	http://eichi.library.pref.miyagi.jp/
大阪府立中之島図書館 貴重書画像データベース [大阪府立中之島図書館]	大阪府立中之島図書館が「貴重書」に指定した資料について、マイクロフィルムからデジタル化した電子画像を提供するシステム。	約360件	ハーベスト	http://rarebooks.library.pref.osaka.jp/
岡山市立中央図書館 郷土資料画像集 [岡山市立中央図書館]	岡山市立中央図書館が収集した、岡山に関する美術品や歴史的資料のデジタル化画像を閲覧できるサイト。	55件	ハーベスト	http://www.city.okayama.jp/kyouiku/chuotoshokan/chuotoshokan_s00124.html
沖縄県立図書館『貴重資料デジタル書庫』 [沖縄県立図書館]	沖縄県立図書館が所蔵する貴重書を画像で閲覧できるサイト。解説文、資料マップ、資料年表、翻刻資料も掲載。首里古地図、琉球染織、球陽、歴代宝案、各種碑文の拓本、山之口狭自筆原稿等を公開。	1,146件	ハーベスト	http://archive.library.pref.okinawa.jp/
神奈川県立図書館 デジタルアーカイブ [神奈川県立図書館]	神奈川県立図書館が所蔵する「浮世絵」等の絵画資料をデジタル化し、公開しているサイト。	約260件	ハーベスト	http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/archive/d_archive_top.htm
川崎市立図書館 Webギャラリー [川崎市立図書館]	川崎市立図書館所蔵の貴重な資料を画像で掲載するサイト。小串嘉男氏寄贈の写真からのピックアップであり、昭和30年頃の川崎駅周辺の様子が写し出された『おもいで』と、昭和39年前後の川崎駅前～小串嘉男写真集より～』と、川崎と川崎の風物・歴史に関する浮世絵のコレクションである『浮世絵に描かれた川崎 中原図書館所蔵浮世絵コレクション』からなる。	78件	ハーベスト	http://www.library.city.kawasaki.jp/webgallery/index.html
岐阜県図書館 岐阜県関係資料+地図資料 [岐阜県図書館]	岐阜県図書館が公開するデジタル資料。電子化した郷土資料・ファッション関係貴重資料を公開する『岐阜県関係資料デジタルコレクション』、岐阜県42市町村を「木」「民俗」等12のキーワードで分類し、動画(一部)、写真、テキスト、音声資料を公開する『平成の風土記 岐阜』、デジタル化した古地図(一部)を公開する『古地図の世界』、世界分布図センターの機関誌『分布図情報(No.32～)』からなる。	約1500件	ハーベスト	http://www.library.pref.gifu.lg.jp/index.html
京都府立総合資料館所蔵 貴重書データベース [京都府立総合資料館、京都府立図書館]	京都府立総合資料館が所蔵している貴重書をデジタル化し、京都府立図書館のHPで公開しているデータベース。	約190件	横断検索	http://www3.library.pref.kyoto.jp/index.html
埼玉県立図書館 デジタルライブラリー [埼玉県立図書館]	埼玉県立浦和図書館が所蔵している貴重書(江戸時代後半の埼玉県に關した和書や錦絵)、絵図、図書・雑誌(明治・大正期)のデジタル化画像を閲覧できるサイト。	75件	ハーベスト	https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib/doc/data/d_contents/index.html
札幌市中央図書館デジタルライブラリー [札幌市中央図書館]	札幌市中央図書館が所蔵する、主に江戸後期から明治期までの貴重資料をデジタル化して公開するサイト。古典籍、北海道関係を中心とした古書、古地図、自筆資料、錦絵等が検索できる。	約1,100件	ハーベスト	http://gazo.library.city.sapporo.jp/
滋賀県立図書館 近江デジタル歴史街道 [滋賀県立図書館]	滋賀県立図書館が所蔵する絵図や古文書、浮世絵等の貴重資料をデジタル化して公開するサイト。	約2,600件	ハーベスト	http://www.shiga-pref-library.jp/wo/da/search/
静岡県立中央図書館 デジタルライブラリー [静岡県立中央図書館]	静岡県立中央図書館が公開するデジタル資料。静岡県立中央図書館が所蔵する葵文庫(江戸幕府旧蔵書)、久能文庫(初代静岡県知事関口隆吉収集資料)、浮世絵(上村翁旧蔵浮世絵集コレクション)を公開する電子図書館と、葵文庫、古地図コレクション、幕末関係資料を公開する電子展示会からなる。	約3,800件	ハーベスト	http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/library/index.html
資料の森(千葉県立中央図書館 電子図書館) [千葉県立中央図書館]	千葉県立中央図書館が所蔵する、錦絵や絵地図、南総里見八犬伝関係資料、房総数学文庫等、主に千葉県に関する貴重書のデジタル画像を閲覧できるサイト。	約820件	ハーベスト	http://www.library.pref.chiba.lg.jp/05e_library/index.html
信州デジくら [長野県デジタルアーカイブ推進協議会]	長野県が所蔵している各種資料をデジタル化し、公開するサイト。県立歴史館、県立長野図書館、信濃美術館・東山魁夷館を中心とした所蔵データを順次公開している。	約2,200件	横断検索	http://digikura.pref.nagano.lg.jp/
高橋由一 石版画の世界(山形県立図書館) [山形県立図書館]	高橋由一が山形県令としても有名な三島通庸の命をうけ、三島の土木事業(新道開鑿)の全貌を後世に伝えるために、栃木・福島・山形の新道を約200回写生し、「山形・福島・栃木三県新道景色石版画三帖」等としてまとめた作品の中から、山形県立図書館が所蔵する手彩色石版画55点を掲載している。	55件	ハーベスト	http://www.lib.pref.yamagata.jp/digilib/index.html
デジタル岡山大百科 [岡山県立図書館]	岡山県域の図書館、各種機関、個人の提供するコンテンツの検索、内容視聴を可能としている郷土情報の電子図書館システム。	郷土情報ネットワーク 約167,000件	横断検索	http://digijoka.libnet.pref.okayama.jp/
徳島県立図書館 デジタルライブラリー [徳島県立図書館]	徳島県立図書館が所蔵する絵図、阿波国文庫、阿波学会研究紀要を公開するサイト。	96件	ハーベスト	http://www.library.tokushima-ac.ed.jp/digital/pdigitalcollection.html
都市横浜の記憶(横浜市中央図書館) [横浜市中央図書館]	横浜市中央図書館が都市横浜の記憶装置として、これまで蓄積してきた横浜資料を活用し、横浜の変遷、成長過程を浮き彫りにすることを目的としたサイト。画像情報(本、雑誌、浮世絵、絵葉書、絵地図、絵図)と文字情報から構成される。	約10,000件	ハーベスト	http://memories.lib.city.yokohama.jp/cats/
鳥取県立図書館所蔵絵図 [鳥取県立図書館]	鳥取県立図書館の所蔵している古絵図の画像を公開しているサイト。	83件	ハーベスト	http://www.library.pref.tottori.jp/kyodo/ezu_top.html
富山県立図書館 古絵図・貴重書ギャラリー [富山県立図書館]	富山県立図書館が所蔵する貴重資料と、富山県の各地域にわたる絵図類等をデジタル化し、公開しているサイト。	約3,100件	ハーベスト	http://www.lib.pref.toyama.jp/gallery/collection/
名古屋の絵葉書集(名古屋市鶴舞中央図書館) [名古屋市鶴舞中央図書館]	鶴舞中央図書館が所蔵する明治後半から昭和初期にかけて発行された絵葉書のうち、名古屋の名所や建築物等の絵葉書をデジタル化し、公開しているサイト。	約130件	ハーベスト	http://www.library.city.nagoya.jp/collection/postcard.html
奈良県地域史料目録 [奈良県立図書館情報館]	奈良県地域の史料の紹介や研究、史料を翻刻したものや影印で複製した書(誌)、それに史料の目録掲載書(誌)が検索できるデータベースを旨として奈良県図書館協会の地域資料研究会が作成した目録。	約13,000件	ハーベスト	http://www2.library.pref.nara.jp/nlmc/
奈良県立図書館情報館ふるとデジタル化書籍+絵図展示ギャラリー [奈良県立図書館情報館]	奈良県立図書館情報館が所蔵するデジタル化書籍、および所蔵する絵図を公開するサイト。	260件	ハーベスト	http://opacsvr01.library.pref.nara.jp/mylmedial/dirsearch/dirsearch.do?dirid=furusato http://www.library.pref.nara.jp/gallery/ezu/index.html

資料編2 国立国会図書館サーチ 検索対象データベース一覧(平成27年1月現在)

名称	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
新潟県立図書館/新潟県立文書館 越後佐渡デジタルライブラリー [新潟県立図書館/新潟県立文書館]	新潟県立図書館と新潟県立文書館が所蔵する、上杉謙信以降400年間の新潟県関係歴史資料を、公開しているサイト。新潟県史の概説版である『新潟県のあゆみ』(平成2年発行)の記述に沿って、歴史資料の画像も提供している。	約1,100件	ハーベスト	http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/Archives/DigitalLibrary
函館市中央図書館所蔵デジタルアーカイブ デジタル資料館 [函館市中央図書館]	函館市中央図書館が公開するデジタル資料。高精細画像による古地図を公開している『函館の古地図』、高精細画像による函館および函館周辺の絵葉書を公開している『函館の絵葉書』、約2,500点に及ぶポスター資料等を簡易データベースで公開している『はこだてポスターコレクション』、情報誌「ステップアップ」に掲載された「函館ゆかり人物伝」を公開している『はこだて人物誌』からなる。	約11,000件	ハーベスト	http://www.lib-hkd.jp/digital/
広島市立中央図書館 特別集書 [広島市立中央図書館]	広島市立中央図書館が所蔵している貴重な資料や特別コレクション。「Web広島文学資料室」は、広島文学資料室収集資料から作家別にデジタル化したものを紹介している。また、「Webギャラリー」では、浅野文庫所蔵資料等から貴重な画像を紹介している。	約270件	ハーベスト	http://www.library.city.hiroshima.jp/special/
福岡県立図書館 デジタルライブラリー [福岡県立図書館]	福岡県立図書館が所蔵する貴重資料・郷土資料のデジタル化画像を閲覧できるサイト。	49件	ハーベスト	http://www.lib.pref.fukuoka.jp/degital
北海道立図書館 北方資料デジタルライブラリー [北海道立図書館]	北海道立図書館北方資料部が保管している貴重書・古地図・文書コレクション等を閲覧できるシステム。	約1,800件	ハーベスト	http://www3.library.pref.hokkaido.jp/digitalibrary/
三重県立図書館 和漢籍資料デジタル閲覧室 [三重県立図書館]	三重県立図書館地域資料コーナー内のコンテンツ、三重県立図書館が所蔵する和漢書13点のデジタル画像を閲覧できる。	13件	ハーベスト	http://www.library.pref.mie.lg.jp/digibook/index.htm
宮崎県立図書館 貴重書デジタルアーカイブ [宮崎県立図書館]	宮崎県立図書館が所蔵する貴重書等のデジタル化画像を検索・閲覧できるサイト。	58件	ハーベスト	http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/DigitalArchiveWeb/DigitalArcMenu.do
東京都立図書館デジタルアーカイブ(TOKYOアーカイブ) [東京都立図書館]	東京都立図書館がデジタル化した、江戸・東京に関する資料画像を検索・閲覧できるシステム。江戸城造営関係資料、浮世絵、江戸図、絵葉書、東京府・東京市関係資料等13カテゴリを公開。	約25,000件	ハーベスト	http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/top
<b>大学図書館</b>				
名称 [提供機関]	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
慶應義塾写真データベース [慶應義塾図書館]	福澤諭吉の留学時代から現在のキャンパス風景に至るまでの、慶應義塾に関する貴重な写真史料を収録しているデータベース。	写真史料 約1,600件	ハーベスト	http://photodb.mita.lib.keio.ac.jp/index.html
慶應義塾図書館デジタルギャラリー [慶應義塾図書館]	慶應義塾図書館が所蔵する貴重書や特殊コレクションの一部をデジタルギャラリーとして公開するサイト。IPA電子図書館プロジェクトや「デジタルアーカイブ・リサーチセンター」(DARC)プロジェクトの成果である高精細デジタルデータの一部に解説を付与し、デジタルギャラリーとして公開。	貴重書 約2,800件	ハーベスト	http://project.lib.keio.ac.jp/dg_kul/index.html
神戸大学附属図書館新聞記事文庫 [神戸大学]	神戸大学経済経営研究所によって作成された、商業経済を中心とした新聞切抜資料より、主として明治末から戦前期までをデジタル化したアーカイブ。	新聞切抜資料 約24万件	横断検索	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/
古典籍総合データベース [早稲田大学図書館]	早稲田大学図書館が所蔵する古典籍・古文書・自筆資料等について、その書誌情報と関連研究資料、さらには全文の画像を広く一般に公開するデータベース。総数は約30万点、国宝2件、重要文化財5件(200点以上)を含むあらゆる分野の資料を、具体的詳細な書誌情報と、鮮やかなカラー画像で閲覧できる。	古典籍 約5,500点	ハーベスト	http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/index.html
筑波大学附属図書館 貴重書コレクション [筑波大学附属図書館]	筑波大学電子図書館(TULIPS)で、電子化し公開している貴重書、紀要、学位論文等のうち、筑波大学附属図書館が所蔵する貴重書等のコレクション。	約1万件	ハーベスト	https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/portal/rare.php
奈良女子大学所蔵資料電子画像集 [奈良女子大学]	奈良女子大学の所蔵資料、社寺等が所蔵する奈良地域に関連する貴重資料を電子化し、公開しているサイト。	約1,042件	ハーベスト	http://www.lib.nara-wu.ac.jp/nwugdb/
駒澤大学電子貴重書庫 [駒澤大学図書館]	駒澤大学、駒澤大学図書館が所蔵している貴重な禅籍・仏教書を中心に、あわせて国文学・国語学・語学・歴史学等の各分野の貴重な資料の書誌と画像を広く公開しているサイト。	約518件	ハーベスト	http://repo.komazawa-u.ac.jp/retrieve/kityou/
<b>専門図書館</b>				
名称 [提供機関]	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
沖縄戦関係資料閲覧室 所蔵資料検索 [内閣府沖縄振興局沖縄戦関係資料閲覧室]	沖縄戦関係資料閲覧室の所蔵資料検索システム。内閣府(旧沖縄開発庁)が、平成12年度から13年度にかけて収集した、国防衛省、厚生労働省、国立公文書館等)及び都道府県の沖縄戦に関する公文書やアメリカ合衆国の国立公文書館、海兵隊歴史センターの所蔵資料等からなる。また、公文書以外にも、沖縄戦に関する図書、写真集やビデオ、DVD等の映像資料も収蔵している。	約3,500件	ハーベスト	http://www.okinawa-sen.go.jp/search.php
サピエ図書館 [全国視覚障害者情報提供施設協会]	全国の視覚障害者情報提供施設(点字図書館)や公共図書館、ボランティア団体、大学図書館等が製または所蔵している点字図書や録音図書の検索システム。サピエ会員であれば、点字・デジタデータのダウンロードができる。	約47万件	ハーベスト	https://www.sapie.or.jp/
水産総合研究センター図書資料デジタルアーカイブ [独立行政法人水産総合研究センター]	渋沢敬三氏寄贈による祭魚洞文庫(5,700冊)をはじめ多くの稀覯資料を所蔵している水産総合研究センターの資料をデジタル化し公開しているサイト。	約15タイトル	ハーベスト	http://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/index.html
日本原子力研究開発機構図書館所蔵資料データベース(JAEA図書館OPAC) [日本原子力研究開発機構]	JAEA図書館の所蔵資料検索システム。原子力及び周辺分野の専門図書、レポート類(米国エネルギー省(DOE)のレポート、国際原子力情報システム(INIS)の非市販資料、世界各国の主要な原子力研究機関の技術報告書等)、DOCKET(米国原子力規制委員会が原子力関係施設の管理者と取り交わした申請書や報告書類を公開した資料)が検索できる。	専門図書 約5万冊、 レポート類 約73万件、 DOCKET 約36万5千件	横断検索	http://library-documents.jaea.go.jp/opac/br_search.asp

## 資料編2 国立国会図書館サーチ 検索対象データベース一覧(平成27年1月現在)

名称	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
農林水産関係試験研究機関 総合目録 [農林水産研究情報総合セン ター]	農林水産省所管の全国の試験研究機関が所蔵する図書 資料類および雑誌の総合目録。書誌・所在情報を提供し ている。	約65万件	ハーベスト	<a href="http://opac.cc.affrc.go.jp/">http://opac.cc.affrc.go.jp/</a>
国立女性教育会館女性デジ タルアーカイブシステム [国立女性教育会館]	男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性、全 国的な女性団体や、女性教育・男女共同参画施策等に関 する史・資料の収集を行っている国立女性教育会館女性 アーカイブセンターが所蔵する資料の目録とデジタル画像 を提供しているデータベース。	約10,000件	ハーベスト	<a href="http://w-&lt;br/&gt;archive.nwec.jp/il4/meta_pu&lt;br/&gt;b/G0000002warchive">http://w- archive.nwec.jp/il4/meta_pu b/G0000002warchive</a>

名称	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
<b>公文書館、博物館</b>				
名称 [提供機関]	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
e国宝 - 国立博物館所蔵 国宝・重要文化財 [国立文化財機構]	国立文化財機構の4つの国立博物館(東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館)が所蔵する国宝・重要文化財の高精細画像を、多言語(日本語、英語、フランス語、中国語、韓国語)による解説とともに、閲覧することができるサイト。	約1,000件	横断検索	http://www.emuseum.jp/
アジア歴史資料データベース [国立公文書館 アジア歴史資料センター]	近現代の日本とアジア近隣諸国等との関係に関わる重要な日本の公文書やその他の記録を収録しているデータベース。国立公文書館、外務省外交史料館、防衛省防衛研究所戦史研究センターが保管するアジア歴史資料のうち、デジタル化が行われた資料を順次公開している。	約162万件	横断検索	http://www.jacar.go.jp/
国立公文書館デジタルアーカイブ [国立公文書館]	国立公文書館が所蔵する、歴史資料として重要な公文書、古書・古文書等の目録データベースの検索、また、重要文化財や大判絵図等を高画質のデジタル画像で閲覧ができるシステム。	公文書目録データ 72万冊分(うち、資料画像提供 約470万コマ) 内閣文庫 約48万冊分	横断検索	http://www.digital.archives.go.jp/
独立行政法人国立美術館 所蔵作品総合目録検索システム [独立行政法人国立美術館]	独立行政法人国立美術館の4つの美術館が所蔵している作品の総合目録を検索できるシステム。	約3万件	ハーベスト	http://search.artmuseums.go.jp/
奈良国立博物館収蔵品データベース [奈良国立博物館]	奈良国立博物館の収蔵する文化財を検索するデータベース。仏教美術や考古遺品を中心に、国宝、重要文化財を含む多数の文化財を展示・保管している。	約1,800件	ハーベスト	http://www.narahaku.go.jp/collection/
<b>その他</b>				
名称 [提供機関]	概要説明	メタデータ件数	検索の種類	URL
hon.jp [株式会社hon.jp]	株式会社hon.jpが運営する、電子書籍の検索エンジン。多数の販売サイトの電子書籍を、一括して検索することができる。	約22万件	横断検索	http://hon.jp/
JapanKnowledge [株式会社ネットアドバンス]	辞書・事典を中心にした総合データベース。総項目数約260万の知識データを一括検索することができる。	約264万件	ハーベスト	http://www.japanknowledge.com/
JPO近刊情報センター [JPO近刊情報センター]	出版社からの近刊情報を集約し、書店・取次に配信することを目的としたシステム。	不明	ハーベスト	なし
青空文庫 [青空文庫]	著者の死後50年を経て著作権の切れた作品等を電子化して提供している。富田倫生氏ら有志により運営されている利用に代価を求めないインターネット電子図書館。	約9,900件	ハーベスト	http://www.aozora.gr.jp/
インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ [株式会社インプレスR&D]	日本のインターネットの歩みを記録した貴重な資料である、インプレス『インターネットマガジン』1994年10月号から2006年5月号までの全記事を公開するサイト。	約3,200件	横断検索	http://i.impressrd.jp/bn
韓国国立中央図書館蔵書目録 [韓国国立中央図書館]	韓国国立中央図書館が所蔵する資料を検索できる蔵書目録検索システム。	不明	横断検索	http://www.nl.go.kr/japanese/index.jsp
裁判官訴追委員会HP [裁判官訴追委員会]	裁判官訴追委員会ホームページの内容を検索します。(リンク集等を除く。)	約50件	ハーベスト	http://www.sotsui.go.jp/
裁判官弾劾裁判所HP [裁判官弾劾裁判所]	裁判官弾劾裁判所ホームページの内容を検索します。(お問い合わせ、キッズページ等を除く。)	約120件	ハーベスト	http://www.dangai.go.jp/
参議院HP [参議院]	参議院ホームページの内容を検索します。(見学・傍聴、キッズページ等を除く。)	約51,000件	ハーベスト	http://www.sangiin.go.jp/
衆議院HP [衆議院]	衆議院ホームページの内容を検索します。(傍聴案内、参観手続き等を除く。)	約87,000件	ハーベスト	http://www.shugiin.go.jp/
新書マップ [NPO法人連想出版]	約1,000のテーマについて、関連する本のリスト、本の概要や目次、それらを読み解くための読書ガイドを付した、新しいスタイルの読書案内システム。	約1,100件	ハーベスト	http://shinshomap.info/
日本ペンクラブ電子文藝館 [日本ペンクラブ]	幕末を含む明治維新期から現代までの日本文学を提供している電子図書館。著作権が存続する作品も、著者や遺族、版元の了承を得て公開している。	約740件	ハーベスト	http://www.japanpen.or.jp/e-bungeikan/
宮田村インターネット博物館 [宮田村デジタルエコミュージアム研究会]	インターネット上に博物館に見立てたデジタルアーカイブを構築し、宮田村の魅力を集約・発信するサイト。	3件	ハーベスト	http://www.miyada.jp/

資料編3 NDLサーチで今後連携が想定される公共図書館のデジタルアーカイブ一覧(平成27年6月現在)

都道府県	館種	図書館名	DAの名称	DAのURL	検索対象データ件数
福島	都道府県立	福島県立図書館	デジタルライブラリー	<a href="http://www.library.fks.ed.jp/ippan/degital/degital_lib.html">http://www.library.fks.ed.jp/ippan/degital/degital_lib.html</a>	-
東京	都道府県立	東京都立図書館	TOKYOアーカイブ *1	<a href="http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/top">http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/top</a>	26,318
福井	都道府県立	福井県立図書館	デジタルライブラリー	<a href="http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=384">http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=384</a>	-
山梨	都道府県立	山梨県立図書館	山梨デジタルライブラリー	<a href="http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/archive/">http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/archive/</a>	-
兵庫	都道府県立	兵庫県立図書館	フェニックス・デジタル・ライブラリー	<a href="http://www.library.pref.hyogo.lg.jp/saichi/">http://www.library.pref.hyogo.lg.jp/saichi/</a>	341
広島	都道府県立	広島県立図書館	貴重資料コレクション	<a href="http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/hp/menu000001500/hpg000001493.htm">http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/hp/menu000001500/hpg000001493.htm</a>	-
佐賀	都道府県立	佐賀県立図書館	佐賀県立図書館データベース	<a href="http://www.sagakentosyo.jp/">http://www.sagakentosyo.jp/</a>	60,923
大阪	政令指定都市立	大阪市立図書館	大阪市立図書館デジタルアーカイブ	<a href="http://image.oml.city.osaka.lg.jp/archive/">http://image.oml.city.osaka.lg.jp/archive/</a>	28,512
福島	その他	いわき市立図書館	郷土資料のページ	<a href="http://library.city.iwaki.fukushima.jp/index.htm?id=2">http://library.city.iwaki.fukushima.jp/index.htm?id=2</a>	2,496
東京	その他	葛飾区立図書館	かつしかデジタルライブラリー	<a href="http://www.lib.city.katsushika.lg.jp/area/menu_dc.shtml">http://www.lib.city.katsushika.lg.jp/area/menu_dc.shtml</a>	-
東京	その他	墨田区立図書館	地域資料	<a href="http://www.library.sumida.tokyo.jp/areamenu?11">http://www.library.sumida.tokyo.jp/areamenu?11</a>	-
東京	その他	中央区立図書館	Webギャラリー	<a href="http://www.library.city.chuo.tokyo.jp/gallerylist?7">http://www.library.city.chuo.tokyo.jp/gallerylist?7</a>	-
東京	その他	文京区立図書館	文の京デジタル文庫	<a href="http://dl.lib.city.bunkyo.tokyo.jp/">http://dl.lib.city.bunkyo.tokyo.jp/</a>	141
東京	その他	あきる野市図書館	あきる野市デジタルアーカイブ	<a href="http://archives.library.akiruno.tokyo.jp/index.html">http://archives.library.akiruno.tokyo.jp/index.html</a>	-
岐阜	その他	大垣市立図書館	デジタルライブラリー	<a href="http://www.is.ocpl.ogaki.gifu.jp/digitalLibrary/index.html">http://www.is.ocpl.ogaki.gifu.jp/digitalLibrary/index.html</a>	59
岐阜	その他	土岐市図書館	デジタルアーカイブ	<a href="http://gkanri.city.toki.lg.jp/FreeFileWeb/frame2.htm">http://gkanri.city.toki.lg.jp/FreeFileWeb/frame2.htm</a>	1,215
愛知	その他	岡崎市立図書館	デジタルアーカイブ	<a href="http://websv.library.okazaki.aichi.jp/digital/">http://websv.library.okazaki.aichi.jp/digital/</a>	-
愛知	その他	津島市立図書館	津島の郷土版画	<a href="http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/hanga/hanga.html">http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/hanga/hanga.html</a>	30
広島	その他	福山市図書館	福山市図書館デジタルアーカイブ	<a href="http://www.d-tosho.city.fukuyama.hiroshima.jp/">http://www.d-tosho.city.fukuyama.hiroshima.jp/</a>	1,000
山口	その他	宇部市立図書館	宇部市デジタルアーカイブ「うべ蔵くん」	<a href="http://archives.city.ube.yamaguchi.jp/">http://archives.city.ube.yamaguchi.jp/</a>	1,080
大分	その他	豊後高田市立図書館	千年ロマン豊後高田デジタルアーカイブ	<a href="http://b2.x317v.smilestart.ne.jp/lib/archive/index.html">http://b2.x317v.smilestart.ne.jp/lib/archive/index.html</a>	2,602
長野	その他	軽井沢町立図書館	軽井沢町立図書館デジタルアーカイブ	<a href="http://karuizawalibrary-archive.jp/">http://karuizawalibrary-archive.jp/</a>	-

[\*1] TOKYOアーカイブは2014年9月にNDLサーチと連携済み

資料編4 NDLサーチで今後連携が想定される大学図書館のデジタルアーカイブ一覧(平成26年6月現在)

区分	図書館名	DAの名称	DAのURL	データ件数
公立	愛知県立大学学術情報センター図書館	愛知県立図書館貴重書コレクション	<a href="http://opac1.aichi-pu.ac.jp/kicho/wahon/index.html">http://opac1.aichi-pu.ac.jp/kicho/wahon/index.html</a>	-
国立	お茶の水女子大学附属図書館	お茶の水女子大学デジタルアーカイブズ	<a href="http://archives.cf.ocha.ac.jp/index.html?grid=Top_head">http://archives.cf.ocha.ac.jp/index.html?grid=Top_head</a>	-
国立	愛知教育大学附属図書館	俳諧一枚摺デジタルライブラリー	<a href="http://www.aueilib.aichi-edu.ac.jp/lib/ichimaizuri/index.html">http://www.aueilib.aichi-edu.ac.jp/lib/ichimaizuri/index.html</a>	-
国立	金沢大学附属図書館	金沢大学資料館Virtual Museum プロジェクトデジタルアーカイブ	<a href="http://kuvvm.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=18">http://kuvvm.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=18</a>	1,004
国立	九州工業大学附属図書館	九州工業大学情報工学部 筑豊歴史写真ギャラリー	<a href="http://search2.libi.kyutech.ac.jp/">http://search2.libi.kyutech.ac.jp/</a>	1,516
国立	九州大学附属図書館	貴重資料画像	<a href="http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/ia/xc/search/*?os[recordset]=Rare%20Book%20Collections">http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/ia/xc/search/*?os[recordset]=Rare%20Book%20Collections</a>	22,478
国立	山口大学図書館	貴重資料デジタルコレクション	<a href="http://rar.lib.yamaguchi-u.ac.jp/rb/Index.e">http://rar.lib.yamaguchi-u.ac.jp/rb/Index.e</a>	82
国立	鹿児島大学附属図書館	古典籍類デジタルアーカイブ	<a href="http://ir.kagoshima-u.ac.jp/collection/handle/123456789/2">http://ir.kagoshima-u.ac.jp/collection/handle/123456789/2</a>	-
国立	信州大学附属図書館	信州大学繊維学部デジタルアーカイブ	<a href="http://fiber.shinshu-u.ac.jp/tex-da/">http://fiber.shinshu-u.ac.jp/tex-da/</a>	-
国立	新潟大学附属図書館	新潟大学古文書古典籍コレクションデータベース	<a href="http://collections.lib.niigata-u.ac.jp/">http://collections.lib.niigata-u.ac.jp/</a>	2,048
国立	千葉大学附属図書館	千葉大学所蔵の特殊資料	<a href="http://www.ll.chiba-u.ac.jp/expansion.html">http://www.ll.chiba-u.ac.jp/expansion.html</a>	-
国立	島根大学附属図書館	SULデジタルアーカイブ	<a href="http://www.lib.shimane-u.ac.jp/0/collection/da/da.asp">http://www.lib.shimane-u.ac.jp/0/collection/da/da.asp</a>	676
国立	東京芸術大学附属図書館	東京芸術大学附属図書館貴重資料DataBase	<a href="http://images.lib.geidai.ac.jp/">http://images.lib.geidai.ac.jp/</a>	-
国立	東京大学附属図書館	電子化コレクション	<a href="http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/coll/index.html">http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/coll/index.html</a>	-
国立	東京大学 経済学図書館	デジタルアーカイブ	<a href="http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/?page_id=400">http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/?page_id=400</a>	-
国立	東北大学附属図書館	東北大学デジタルコレクション	<a href="http://dbr.library.tohoku.ac.jp/infolib/meta_pub/G9200001CROSS">http://dbr.library.tohoku.ac.jp/infolib/meta_pub/G9200001CROSS</a>	-
国立	北海道大学附属図書館	北海道大学北方関係資料総合目録	<a href="http://www2.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/">http://www2.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/</a>	-
国立	名古屋大学附属図書館	電子コレクション	<a href="http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/e_collect/index.html">http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/e_collect/index.html</a>	-
私立	京都造形芸術大学芸術文化情報センター	幕末維新期役者絵データベース	<a href="http://kensaku.kyoto-art.ac.jp/ukivoe/">http://kensaku.kyoto-art.ac.jp/ukivoe/</a>	-
私立	駒澤大学図書館	電子貴重書庫 *1	<a href="http://repo.komazawa-u.ac.jp/retrieve/kityou/02-kicho.html">http://repo.komazawa-u.ac.jp/retrieve/kityou/02-kicho.html</a>	-
私立	広島修道大学図書館	明治法曹文庫	<a href="http://www-lib.shudo-u.ac.jp/home/meiji/index.html">http://www-lib.shudo-u.ac.jp/home/meiji/index.html</a>	996
私立	国際基督教大学図書館	内村鑑三記念文庫デジタルアーカイブ	<a href="http://lib-archive.icu.ac.jp/uchimura/index.html">http://lib-archive.icu.ac.jp/uchimura/index.html</a>	30
私立	国際仏教学大学院大学附属図書館	日本古写経データベース	<a href="http://koshakyo-database.icabs.ac.jp/index.seam">http://koshakyo-database.icabs.ac.jp/index.seam</a>	1,405
私立	札幌学院大学図書館	デジタルライブラリ(地崎文庫)	<a href="http://library.sgu.ac.jp/chizaki.htm">http://library.sgu.ac.jp/chizaki.htm</a>	181
私立	女子栄養大学図書館	栄養と料理デジタルアーカイブス	<a href="http://eivotorvori.jp/">http://eivotorvori.jp/</a>	17,828
私立	大阪産業大学総合図書館	大阪産業大学総合図書館 電子図書館	<a href="http://infolib.osaka-sandai.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003RAREDB">http://infolib.osaka-sandai.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003RAREDB</a>	-
私立	津田塾大学図書館	津田塾大学デジタルアーカイブ	<a href="http://lib.tsuda.ac.jp/DigitalArchive/index.html">http://lib.tsuda.ac.jp/DigitalArchive/index.html</a>	-
私立	東北学院大学図書館	東日本大震災の記録 Remembering 3.11	<a href="http://archive311.tohoku-gakuin.jp/">http://archive311.tohoku-gakuin.jp/</a>	-
私立	日本大学図書館	デジタルミュージアム	<a href="http://www.nihon-u.ac.jp/affiliate_institute/library/digital_museum/">http://www.nihon-u.ac.jp/affiliate_institute/library/digital_museum/</a>	-
私立	文化ファッション大学院大学図書館	貴重書デジタルアーカイブ	<a href="http://digital.bunka.ac.jp/kichosho/">http://digital.bunka.ac.jp/kichosho/</a>	-
私立	立命館大学総合情報センター	デジタルコレクション	<a href="http://www.ritsumei.ac.jp/library/collection/digital_collection.html/">http://www.ritsumei.ac.jp/library/collection/digital_collection.html/</a>	-
私立	佛教大学図書館	佛教大学図書館デジタルコレクション	<a href="http://archives.bukkyo-u.ac.jp/collections/">http://archives.bukkyo-u.ac.jp/collections/</a>	30
私立	國學院大学図書館	國學院デジタルミュージアム	<a href="http://k-amc.kokugakuin.ac.jp/DM/dbTop.do;jsessionid=?class_name=col_ldl">http://k-amc.kokugakuin.ac.jp/DM/dbTop.do;jsessionid=?class_name=col_ldl</a>	848

[\*1] 電子貴重書庫は2014年9月にNDLサーチと連携済み

資料編5 公文書館デジタルアーカイブ一覧(平成26年12月現在)

<注>

・連携IF有無の判断基準は他機関と横断検索をしていることとした。

・下記の機関はDBおよび連携IFとも「あり」とした。

①国立国会図書館内部組織:憲政資料室

②人間文化機構:国文学研究資料館、国際日本文化研究センター、国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館

③すでに連携済みまたは連携作業中:国立女性教育会館

・アジア経済研究所図書館にはDAシステムが複数存在するため項番を枝番にして分けたが、統計は同館全体で1とした。

項番	種別	名称	URL	データベース		インターフェース		備考
				目録	デジタル	目録	デジタル	
http://www.archives.go.jp/links/ に記載があるもの								
1	国立公文書館に類する施設	宮内庁宮内公文書館	http://www.kunaicho.go.jp/kunaicho/shinsei/kobunshokan.html	80,032件	なし	なし	なし	
2	国立公文書館に類する施設	外務省外交史料館	http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/	なし	あり	なし	なし	国立公文書館アジア歴史資料センターDB経由で一部連携済み
3	国立公文書館に類する施設	日本銀行金融研究所アーカイブ	http://www.imes.boj.or.jp/archives/	なし	なし	なし	なし	
4	国立公文書館に類する施設	東北大学学術資源研究公開センター史料館	http://www2.archives.tohoku.ac.jp/	なし	なし	なし	なし	
5	国立公文書館に類する施設	名古屋大学学文書資料室	http://nua.jimu.nagoya-u.ac.jp/index.html	あり	なし	なし	なし	
6	国立公文書館に類する施設	京都大学大学文書館	http://kua1.archives.kyoto-u.ac.jp/ja/	15万件	1,019件	なし	なし	
7	国立公文書館に類する施設	大阪大学アーカイブズ	http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/ed_support/archives_room	なし	なし	なし	なし	
8	国立公文書館に類する施設	神戸大学附属図書館大学文書史料室	http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho/	30,750件	あり	あり	あり	国立公文書館の横断検索先機関
9	国立公文書館に類する施設	広島大学文書館	http://home.hiroshima-u.ac.jp/hua/	なし	なし	なし	なし	
10	国立公文書館に類する施設	九州大学大学文書館	http://www.arc.kyushu-u.ac.jp/	あり	あり	なし	なし	
11	国の保存利用機関	防衛省防衛研究所戦史研究センター	http://www.nids.go.jp/military_archives/index.html	なし	なし	なし	なし	国立公文書館アジア歴史資料センターDB経由で一部連携済み
12	国の保存利用機関	国立国会図書館 憲政資料室	http://www.ndl.go.jp/jp/service/tokyo/constitutional/	あり	あり	あり	あり	NDLサーチと連携済み
13	国の保存利用機関	衆議院憲政記念館	http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_kensei.htm	なし	なし	なし	なし	
14	類縁機関	アジア経済研究所図書館	http://webopac.ide.go.jp/webopac/catsrd.do	あり	なし	あり	なし	
	類縁機関	デジタルアーカイブス近現代アジアの中の日本 [アジア経済研究所図書館]	http://d-arch.ide.go.jp/asia_archive/	図書26,129件 雑誌2,056件	3,774件	あり	あり	
	類縁機関	デジタルアーカイブス「日本の経験を伝える」[アジア経済研究所図書館]	http://d-arch.ide.go.jp/je_archive/index.html	あり	145件	あり	あり	
	類縁機関	岸幸一コレクション-南方関係軍政・海軍資料を中心に [アジア経済研究所図書館]	http://d-arch.ide.go.jp/kishi_collection/	あり	2,342件	あり	あり	
15	類縁機関	沖縄戦関係資料閲覧室	http://www.okinawa-sen.go.jp/	あり	3,596件	なし	なし	
16	類縁機関	国立教育政策研究所 教育研究情報センター(教育図書館)	http://www.nier.go.jp/library/index.html	あり	なし	あり	なし	
17	類縁機関	国土地理院(古地図コレクション、伊能大図彩色図)	http://kochizu.gsi.go.jp/HistoricalMap/	なし	あり	なし	なし	
18	類縁機関	国文学研究資料館	http://www.nijl.ac.jp/	あり	あり	あり	あり	人間文化研究機構DB経由で連携済み
19	類縁機関	しょうけい館	http://www.shokeikan.go.jp/library/library.html	あり	なし	なし	なし	
20	類縁機関	昭和館	http://www.showakan.go.jp/index.html	あり	なし	なし	なし	
21	類縁機関	国立女性教育会館女性デジタルアーカイブシステム	http://w-archive.nwec.jp/il4/meta_pub/G0000002warchive	あり	あり	あり	あり	NDLサーチと連携済み
22	類縁機関	税務情報センター租税史料室	http://www.nta.go.jp/ntc/sozei/	あり	あり	なし	なし	
23	類縁機関	鉄道博物館	http://www.railway-museum.jp/top.html	なし	なし	なし	なし	
24	類縁機関	国際日本文化研究センター	http://db.nichibun.ac.jp/ja/	あり	あり	あり	あり	人間文化研究機構DB経由で連携済み
25	類縁機関	国立ハンセン病資料館	http://www.hansen-dis.jp/	あり	あり	なし	なし	
26	類縁機関	平和祈念展示資料館	http://www.heiwakinen.jp/index.html	2,022件	あり	なし	なし	
27	類縁機関	防災科学技術研究所ライブラリー	http://dil-opac.bosai.go.jp/	あり	あり	なし	なし	
28	類縁機関	国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/research/sharing	あり	あり	あり	あり	人間文化研究機構DB経由で連携済み
29	類縁機関	国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/index.html	あり	あり	あり	あり	人間文化研究機構DB経由で連携済み
30	大学アーカイブ	小樽商科大学緑丘アーカイブズ	http://archives.ih.otaru-uc.ac.jp/jspui/	あり	あり	あり	あり	
31	大学アーカイブ	北海道大学大学文書館	http://www.hokudai.ac.jp/bunsho/	なし	なし	なし	なし	
32	大学アーカイブ	東京大学史料室	http://www.u-tokyo.ac.jp/history/index_j.html	なし	なし	なし	なし	
33	大学アーカイブ	東京外国語大学大学文書館	http://www.tufs.ac.jp/common/archives/	なし	なし	なし	なし	

項番	種別	名称	URL	データベース		インターフェース		備考
				目録	デジタル	目録	デジタル	
34	大学アーカイブ	滋賀大学経済学部附属史料館	http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/1	なし	なし	なし	なし	
35	大学アーカイブ	奈良教育大学学術情報研究センター教育資料館	http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/siryokan.htm	なし	あり	なし	なし	
36	全国公文書館	道立文書館デジタルアーカイブ [北海道立文書館]	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/mnj/digital/monjokan_digital_archive.htm	なし	あり	なし	なし	
37	全国公文書館	宮城県公文書館	miyagi.jp/soshiki/koubun/	なし	なし	なし	なし	
38	全国公文書館	秋田県公文書館デジタルアーカイブ	http://da.apl.pref.akita.jp/lib/	なし	86	あり	あり	
39	全国公文書館	福島県歴史資料館	http://www.history-archives.fks.ed.jp/	なし	なし	なし	なし	
40	全国公文書館	茨城県立歴史館	http://www.rekishikan-ibk.jp/	あり	なし	なし	なし	
41	全国公文書館	栃木県立文書館	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m58/education/bunka/monjokan/toppage2.html	なし	なし	なし	なし	
42	全国公文書館	群馬県立文書館	http://www.archives.pref.gunma.jp/	あり	なし	なし	なし	
43	全国公文書館	千葉県文書館	http://www.pref.chiba.lg.jp/bunshokan/contents/index.html	なし	なし	なし	なし	
44	全国公文書館	東京都公文書館	http://www.soumu.metro.tokyo.jp/01soumu/archives/01aboutus.htm	あり	なし	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
45	全国公文書館	神奈川県立公文書館	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/	約54万点	あり	なし	なし	
46	全国公文書館	新潟県立文書館	http://opac.archives.pref.niigata.jp/index.jsp	あり	あり	なし	なし	
47	全国公文書館	富山県公文書館	http://www.pref.toyama.jp/branches/1147/	あり	なし	なし	なし	
48	全国公文書館	福井県文書館	http://www.archives.pref.fukui.jp/	あり	あり	なし	あり	国立公文書館の横断検索先機関
49	全国公文書館	長野県立歴史館	http://www.npmh.net/	なし	あり	なし	なし	
50	全国公文書館	岐阜県歴史資料館	http://www.pref.gifu.lg.jp/kyoiku-bunka-sports/shakaikyoiku/kankeikikan/rekishi-shiryokan/	あり	なし	なし	なし	
51	全国公文書館	愛知県公文書館	http://www.pref.aichi.jp/kobunshokan/	あり	なし	なし	なし	
52	全国公文書館	三重県総合博物館	http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/	あり	あり	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
53	全国公文書館	滋賀県県政史料室	http://www.pref.shiga.lg.jp/b/kemmin-j/kenseishiryositsu/hozonbunsho2.html	なし	なし	なし	なし	
54	全国公文書館	京都府立総合資料館	http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/	あり	あり	なし	なし	
55	全国公文書館	大阪府公文書館	http://www.pref.osaka.jp/johokokai/archives/index.html	あり	なし	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
56	全国公文書館	兵庫県公館県政資料館	http://web.pref.hyogo.jp/pa13/pa13_000000005.html	なし	なし	なし	なし	
57	全国公文書館	奈良県立図書館情報館	http://www.library.pref.nara.jp/index.html	あり	あり	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
58	全国公文書館	和歌山県立文書館	https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/	なし	なし	なし	なし	
59	全国公文書館	鳥取県立公文書館	http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho/	あり	なし	なし	なし	
60	全国公文書館	島根県公文書センター	http://www.pref.shimane.lg.jp/kobunsho/	なし	なし	なし	なし	
61	全国公文書館	岡山県立記録資料館	http://archives.pref.okayama.jp/	あり	なし	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
62	全国公文書館	広島県立文書館	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/	なし	なし	なし	なし	
63	全国公文書館	山口県文書館	http://ymonjo.ysn21.jp/	あり	あり	なし	なし	
64	全国公文書館	徳島県立文書館	http://www.archiv.tokushima-ec.ed.jp/	あり	なし	なし	なし	
65	全国公文書館	香川県立文書館	http://www.pref.kagawa.jp/bunshokan/	なし	なし	なし	なし	
66	全国公文書館	福岡共同公文書館	http://kobunshokan.pref.fukuoka.lg.jp/	あり	なし	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
67	全国公文書館	佐賀県公文書館	http://www.pref.saga.lg.jp/web/kensei/_1363/se-koukai-kojin/tekisitosyo.html	なし	なし	なし	なし	
68	全国公文書館	大分県公文書館	http://www.pref.oita.jp/site/346/	なし	なし	なし	なし	
69	全国公文書館	沖縄県公文書館	http://www.archives.pref.okinawa.jp/	あり	あり	なし	なし	
70	全国公文書館	札幌市公文書館	http://www.city.sapporo.jp/kobunshokan/	あり	なし	なし	なし	
71	全国公文書館	川崎市公文書館	http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/19-4-0-0-0-0-0-0.html	あり	なし	なし	なし	
72	全国公文書館	名古屋市市政資料館	http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/52-7-0-0-0-0-0-0.html	なし	なし	なし	なし	
73	全国公文書館	大阪市公文書館	http://www.city.osaka.lg.jp/shimin_top/category/724-18-2-0-0.html	あり	なし	なし	なし	
74	全国公文書館	神戸市文書館	http://www.city.kobe.lg.jp/information/institution/institution/document/	あり	なし	なし	なし	
75	全国公文書館	広島市公文書館	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/000000000000/1111388205366/	なし	なし	なし	なし	
76	全国公文書館	北九州市立文書館	http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisetsu/menu06_0046.html	なし	なし	なし	なし	

項番	種別	名称	URL	データベース		インターフェース		備考
				目録	デジタル	目録	デジタル	
77	全国公文書館	福岡市総合図書館	http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/materials/	なし	なし	なし	なし	
78	全国公文書館	小山市文書館	http://monjyokan.city.oyama.tochigi.jp/	あり	なし	なし	なし	
79	全国公文書館	芳賀町総合情報館	http://www.town.haga.tochigi.jp/jouhoukan/bunshokan/shiryu.html	なし	なし	なし	なし	
80	全国公文書館	中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」	http://www.town.nakanojo.gunma.jp/musee/index.html	なし	なし	なし	なし	
81	全国公文書館	久喜市公文書館	http://www.city.kuki.lg.jp/section/kobunsho/kobunsho.html	なし	なし	なし	なし	
82	全国公文書館	八潮市立資料館	http://www.city.yashio.lg.jp/siryokan/	なし	なし	なし	なし	
83	全国公文書館	板橋区公文書館	http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/000/000987.html	なし	なし	なし	なし	
84	全国公文書館	ふるさと府中歴史館	http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisetu/komyunite/gekijo/hurusatorekisikann/	なし	なし	なし	なし	
85	全国公文書館	藤沢市文書館	http://digital.city.fujisawa.kanagawa.jp/	あり	あり	なし	なし	
86	全国公文書館	寒川文書館	http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp/opac/bunsho/	あり	なし	なし	なし	
87	全国公文書館	上越市公文書センター	http://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kobunsho/	なし	なし	なし	なし	
88	全国公文書館	富山市公文書館	http://archives.city.toyama.toyama.jp/archives/	あり	なし	なし	なし	
89	全国公文書館	長野市公文書館	http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/	なし	なし	なし	なし	
90	全国公文書館	松本市文書館	http://www.city.matsumoto.nagano.jp/sisetu/kyoiku/bunshokan/	なし	なし	なし	なし	
91	全国公文書館	小布施町文書館	http://www.town.obuse.nagano.jp/site/bunshokan/	なし	なし	なし	なし	
92	全国公文書館	高山市公文書館	http://www.city.takayama.lg.jp/soumu/kobunshokan.html	なし	なし	なし	なし	
93	全国公文書館	磐田市歴史文書館	http://www.city.iwata.shizuoka.jp/shisetsu/entry/shisetsu100352.php	なし	なし	なし	なし	
94	全国公文書館	守山市公文書館	http://www.city.moriyama.lg.jp/pub/submit.nsf/1c3b605ff421f65d49256dab003c6428/306da7543d29b6f7492576b900255e57!OpenDocument	なし	なし	なし	なし	
95	全国公文書館	尼崎市立地域研究史料館	http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/	あり	あり	なし	なし	
96	全国公文書館	三豊市文書館	http://www.city.mitoyo.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=7206	なし	なし	なし	なし	
97	全国公文書館	西予市城川文書館	サイトなし	なし	なし	なし	なし	
98	全国公文書館	天草市立天草アーカイブズ	http://hp.amakusa-web.jp/a0695/MyHp/Pub/	なし	なし	なし	なし	
99	全国公文書館	北谷町公文書館	http://www.chatan.jp/yakuba/1/573.html	なし	なし	なし	なし	
100	全国公文書館	埼玉県立文書館収蔵資料検索システム 横断検索	http://www.i-repository.net/infolib/meta_pub/OdnCsvDefault.exe?DEF_XSL=default&GRP_ID=G0000069&DB_ID=G0000069OUDAN&IS_TYPE=csv&IS_STYLE=default	あり	なし	あり	なし	国立公文書館の横断検索先機関
http://ja.wikipedia.org/wiki/公文書館 に記載があるもの								
101	全国公文書館	宮崎県文書センター-所蔵資料-	http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/somu/somu/bunsho/shiryu.html	なし	なし	なし	なし	
102	全国公文書館	小山市文書検索システム [栃木県小山市文書館]	https://monjyokan.city.oyama.tochigi.jp/oyama/Frame.asp	あり	なし	なし	なし	
103	全国公文書館	栃木県芳賀町総合情報館	http://www.town.haga.tochigi.jp/jouhoukan/bunshokan/shiryu.html	なし	なし	なし	なし	
104	全国公文書館	静岡県歴史的文書	http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-320/rekishi/index.html	なし	なし	なし	なし	
105	全国公文書館	静岡県史編さん収集資料検索システム [静岡県立中央図書館歴史文化情報センター]	http://multi.tosyokan.pref.shizuoka.jp/kenshi/lib.kenshi_find.form	あり	なし	なし	なし	
106	全国公文書館	新潟県長岡市立中央図書館文書資料室	https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/index.htm	なし	なし	なし	なし	
107	全国公文書館	山口県下関市文書館	http://www.library.shimonoseki.yamaguchi.jp/					
108	全国公文書館	福岡県柳川古文書館	http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/rekishi/kobun/index.html	なし	なし	なし	なし	
109	全国公文書館	熊本県熊本市歴史文書資料室	http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/Content/web/asp/kiji_detail.asp?ID=6970&mid=1&SR=6970&q=%97%F0%8E%95%B6%8F%91&Search=on&radiobutton=4&now_P=1&LS=0	なし	なし	なし	なし	

## 資料編6 専門図書館デジタルアーカイブ一覧(平成26年7月現在)

専門図書館協議会加盟館207機関のうち(大学図書館は除外)、調査時点で各HP等からデジタルアーカイブの存在が確認できたもの			
機関名	DAの名称	DAのURL	備考
株式会社 朝日新聞社 データベース事業セクション	朝デジスペシャル	<a href="http://www.asahi.com/special/digisp/?iref=com_gnavi">http://www.asahi.com/special/digisp/?iref=com_gnavi</a>	
公益財団法人 味の素の文化センター	アーカイブス	<a href="http://www.syokubunka.or.jp/archives/">http://www.syokubunka.or.jp/archives/</a>	
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構本社図書館	JAXAデジタルアーカイブス	<a href="http://ida.jaxa.jp/index.php">http://ida.jaxa.jp/index.php</a>	
公益財団法人 大倉精神文化研究所	デジタルアーカイブ	<a href="http://www.okuraken.or.jp/degitalarchive/">http://www.okuraken.or.jp/degitalarchive/</a>	
独立行政法人 海洋研究開発機構	J-EDI深海映像・画像アーカイブス	<a href="http://www.godac.jamstec.go.jp/jedi/j/index.html">http://www.godac.jamstec.go.jp/jedi/j/index.html</a>	
公益財団法人 矯正協会 矯正図書館	デジタル公開資料	<a href="http://www.ica-library.jp/kangokukyukaizassi/index.html">http://www.ica-library.jp/kangokukyukaizassi/index.html</a>	
国立女性教育会館 女性教育情報センター	女性デジタルアーカイブシステム	<a href="http://w-archive.nwec.jp/il4/meta_pub/G0000002warchive">http://w-archive.nwec.jp/il4/meta_pub/G0000002warchive</a>	連携済
公益財団法人 後藤・安田記念 東京都市研究所市政専門図書館	デジタルアーカイブス	<a href="https://www.timr.or.jp/library/degitalarchives.html">https://www.timr.or.jp/library/degitalarchives.html</a>	
公益財団法人 渋沢栄一記念財団	実業史錦絵	<a href="http://ebiki.jp/">http://ebiki.jp/</a>	人文研(国文研) 経由で連携済
女性就業支援センター	行政資料の画像検索	<a href="http://www.joseishugyo.go.jp/history/gazou_kensaku.php">http://www.joseishugyo.go.jp/history/gazou_kensaku.php</a>	
公益財団法人 新聞通信調査会通信社 ライブラリー	News Archive	<a href="http://www.chosakai.gr.jp/news/index.html">http://www.chosakai.gr.jp/news/index.html</a>	
中外製薬株式会社	広告ライブラリー	<a href="http://www.chugai-pharm.co.jp/profile/ad/index.html">http://www.chugai-pharm.co.jp/profile/ad/index.html</a>	
電源開発株式会社	GLOBAL EDGE	<a href="http://www.ipower.co.jp/ge/ge09/index.html">http://www.ipower.co.jp/ge/ge09/index.html</a>	
一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所資料室	研究紹介映像	<a href="http://criepi.denken.or.jp/research/video/index.html">http://criepi.denken.or.jp/research/video/index.html</a>	
ドイツ日本研究所図書室	板東コレクション	<a href="http://bando.ditokyo.org/?page=theme_detail.php&amp;p_id=3&amp;menu=1">http://bando.ditokyo.org/?page=theme_detail.php&amp;p_id=3&amp;menu=1</a>	
東京国立博物館資料館	コレクション	<a href="http://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=95">http://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=95</a>	一部連携済
	情報アーカイブ	<a href="http://webarchives.tnm.jp/archives/">http://webarchives.tnm.jp/archives/</a>	
東京電力株式会社	写真・映像ライブラリー	<a href="http://www.tepco.co.jp/tepconews/library/index-i.html">http://www.tepco.co.jp/tepconews/library/index-i.html</a>	
東京都議会図書館	開会告知ポスター	<a href="http://www.gikai.metro.tokyo.jp/poster/index.html">http://www.gikai.metro.tokyo.jp/poster/index.html</a>	
株式会社 東洋経済新報社	Video	<a href="http://toyokeizai.net/list/genre/video">http://toyokeizai.net/list/genre/video</a>	
東レ株式会社	動画ライブラリー	<a href="http://link.brightcove.co.jp/services/player/bcpid48478603001?bclid=48607676001&amp;@videoList.featured=54591696002">http://link.brightcove.co.jp/services/player/bcpid48478603001?bclid=48607676001&amp;@videoList.featured=54591696002</a>	
公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター	アーカイブ	<a href="http://www.research.tokyo-23city.or.jp/index.html">http://www.research.tokyo-23city.or.jp/index.html</a>	
公益社団法人 土木学会附属 土木図書館	デジタルアーカイブス	<a href="http://www.jsce.or.jp/library/page/report.shtml">http://www.jsce.or.jp/library/page/report.shtml</a>	
日仏会館図書室	デジタルアーカイブ	<a href="http://www.mfi.gr.jp/agenda/numerique/index_ja.php">http://www.mfi.gr.jp/agenda/numerique/index_ja.php</a>	
日本看護協会図書館	動画ポータル	<a href="http://www.nurse.or.jp/portal/">http://www.nurse.or.jp/portal/</a>	
日本銀行情報サービス局図書館	対外説明・広報	<a href="http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/">http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/</a>	
独立行政法人 日本原子力研究開発機構	リポジトリ	<a href="http://jolissrch-inter.tokai-sc.jaea.go.jp/search/servlet/interSearch?">http://jolissrch-inter.tokai-sc.jaea.go.jp/search/servlet/interSearch?</a>	JAIRO経由で連携済
一般社団法人 日本建築学会図書館	デジタルアーカイブス	<a href="http://www.aij.or.jp/da1/">http://www.aij.or.jp/da1/</a>	
公益財団法人 日本国際問題研究所図書室	国際問題アーカイブ	<a href="http://www2.jiia.or.jp/RETR/">http://www2.jiia.or.jp/RETR/</a>	
公益社団法人 日本歯科医師会学術課(図書館係)	待合室でみつけた	<a href="http://www.ida.or.jp/pr/index.html">http://www.ida.or.jp/pr/index.html</a>	
一般社団法人 日本自動車工業会	ライブラリー	<a href="http://www.jama.or.jp/lib/">http://www.jama.or.jp/lib/</a>	
一般社団法人 日本新聞協会総務部総務担当	新聞広告データアーカイブ	<a href="http://www.pressnet.or.jp/adarc/">http://www.pressnet.or.jp/adarc/</a>	
独立行政法人 日本貿易振興機構 アジア経済研究所図書館	デジタルアーカイブス	<a href="http://d-arch.ide.go.jp/asia_archive/">http://d-arch.ide.go.jp/asia_archive/</a>	
日本放送協会(NHK) 知財展開センター	NHKデジタルアーカイブス	<a href="http://www.nhk.or.jp/archives/digital/">http://www.nhk.or.jp/archives/digital/</a>	
日本放送協会(NHK) 放送文化研究所図書室	調査・研究結果	<a href="http://www.nhk.or.jp/bunken/research/index.html">http://www.nhk.or.jp/bunken/research/index.html</a>	
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所			連携済
株式会社 農林中金総合研究所 編集情報室資料係	東日本大震災アーカイブズ	<a href="http://www.quake-coop-japan.org/">http://www.quake-coop-japan.org/</a>	
独立行政法人 物質・材料研究機構 科学情報室(図書)	デジタルアーカイブ	<a href="http://www.nims.go.jp/publicity/digital/index.html">http://www.nims.go.jp/publicity/digital/index.html</a>	

独立行政法人 放射線医学総合研究所	動画ニュース	<a href="http://www.nirs.go.jp/information/movie/index.shtml">http://www.nirs.go.jp/information/movie/index.shtml</a>	
株式会社 三井物産 戦略研究所戦略研ライブラリー	映像で見る三井物産	<a href="https://www.mitsui.com/jp/ja/company/movie/index.html">https://www.mitsui.com/jp/ja/company/movie/index.html</a>	
一般財団法人 民主音楽協会 民音音楽博物館	バーチャル民音音楽博物館	<a href="http://www.min-on.or.jp/virtual_museum/index.html">http://www.min-on.or.jp/virtual_museum/index.html</a>	
平成21年度「図書館及び図書館情報学に関する調査研究」の対象のうち、上記リストにないもの			
機関名	DAの名称	DAのURL	備考
(独)国立文化財機構九州国立博物館	西都太宰府	<a href="http://www.kyuhaku-db.jp/dazaifu/index.html">http://www.kyuhaku-db.jp/dazaifu/index.html</a>	
	装飾古墳データベース	<a href="http://kyuhaku.imc.or.jp/">http://kyuhaku.imc.or.jp/</a>	
	対馬宗家文書	<a href="http://www.kyuhaku-db.jp/souke/">http://www.kyuhaku-db.jp/souke/</a>	
(独)国立特別支援教育総合研究所	刊行物一覧	<a href="http://www.nise.go.jp/blog/kankoubutu.html">http://www.nise.go.jp/blog/kankoubutu.html</a>	
国立保健医療科学院	国立保健医療科学院所蔵貴重書	<a href="http://www.niph.go.jp/toshokan/koten/index.html">http://www.niph.go.jp/toshokan/koten/index.html</a>	
(独)森林総合研究所	刊行物	<a href="http://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/index.html">http://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/index.html</a>	
農業環境技術研究所広報情報室	農環研ニュース	<a href="http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/publish/news.html">http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/publish/news.html</a>	
(独)日本原子力研究開発機構	JOPSS (JAEA Originated Papers Searching System: 研究開発成果検索・閲覧システム)	<a href="http://jolissrch-inter.tokai-sc.iaea.go.jp/search/servlet/interSearch">http://jolissrch-inter.tokai-sc.iaea.go.jp/search/servlet/interSearch</a>	
高輝度光科学研究センター	刊行物	<a href="http://www.spring8.or.jp/ja/news_publications/publications/">http://www.spring8.or.jp/ja/news_publications/publications/</a>	
外務省外交史料館	日本外交文書デジタルアーカイブ	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/archives/index.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/archives/index.html</a>	
(財)日本近代文学館	日本近代文学館資料写真検索	<a href="http://webopac.bungakukan.or.jp/pic/">http://webopac.bungakukan.or.jp/pic/</a>	
(財)地球環境戦略研究機関(IGES)	IGES Enviro Scope	<a href="http://enviroscope.iges.or.jp/modules/envirolib/index.php">http://enviroscope.iges.or.jp/modules/envirolib/index.php</a>	

## 資料編7 NDLサーチ関連ドキュメント一覧(平成27年1月現在)

検索対象データベース一覧	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/target/">http://iss.ndl.go.jp/information/target/</a>
連携を希望される機関の方へ	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/">http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/</a>
WebAPIによるシステム連携ガイドライン ver.1.2	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2014/06/WebAPIguideline_ver.1.2_20140526.pdf">http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2014/06/WebAPIguideline_ver.1.2_20140526.pdf</a>
国立国会図書館サーチ連携マニュアル	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2014/06/renkeimanual_ver.1.0_20140601.pdf">http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2014/06/renkeimanual_ver.1.0_20140601.pdf</a>
外部提供インタフェース(API)	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/api/">http://iss.ndl.go.jp/information/api/</a>
国立国会図書館サーチ 外部提供インタフェース仕様書(第1.12版)	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2014/12/ndlsearch_api_20141215_jp.pdf">http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2014/12/ndlsearch_api_20141215_jp.pdf</a>
国立国会図書館サーチリンク集	<a href="http://iss.ndl.go.jp/information/link/">http://iss.ndl.go.jp/information/link/</a>
「国立国会図書館サーチのメタデータ収録状況 Europeanaとの比較調査」 (情報管理. 2014, vol.57, no.9, P.651-663)	<a href="http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.57.651">http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.57.651</a>